

# 「美浜町温暖化防止アクションプランⅣ」

～小さな町からの地球温暖化防止に向けて～

令和2年3月

美 浜 町



# 目 次

1. 計画策定の背景 .....	1
(1) 地球温暖化の影響 .....	1
(2) 地球温暖化問題に対する社会動向 .....	2
(3) 和歌山県、本町での取組 .....	4
2. アクションプラン（平成 26 年～平成 30 年）の結果 .....	6
(1) 全体排出量について .....	6
(2) 項目別活動量について .....	7
(3) 項目別排出量について .....	8
(4) 施設種類別排出量について .....	9
(5) 上水使用量、用紙類使用量、可燃ごみ量について .....	10
3. 基本的事項の設定 .....	11
(1) 新アクションプラン策定の目的 .....	11
(2) 新アクションプランの期間 .....	11
(3) 新アクションプランの対象 .....	12
(4) 対象とする温室効果ガス .....	13
(5) 温室効果ガスの算定方法 .....	14
4. 温室効果ガス排出状況 .....	17
(1) 活動量 .....	17
(2) 温室効果ガス排出量 .....	18
5. 資源の利用状況等 .....	20
(1) 上水の使用 .....	20
(2) 用紙類の使用 .....	20
(3) 可燃ごみの排出 .....	20
6. 温室効果ガス排出量（電気使用量、下水処理量）の想定 .....	21
(1) 目的 .....	21
(2) 今後の電気使用量の見込み .....	21
(3) 将来推計（予測） .....	27

7. 目標設定.....	28
(1) 排出増加量の検討 .....	28
(2) 排出削減量の検討 .....	28
(3) 温室効果ガス排出量の目標 .....	29
8. 温室効果ガスの削減に向けた取組 .....	31
(1) 各施設での取り組み内容.....	33
(2) 意識の向上と情報提供 .....	36
9. アクションプランの推進.....	38
(1) 推進体制.....	38
(2) 進捗状況の点検等 .....	39
(3) 公表.....	39
資料1 施設別活動量 .....	40
資料2 施設別温室効果ガス排出量.....	42
資料3 施設別上水使用量.....	44
資料4 用紙類使用量（施設別、用紙種別） .....	45
資料5 施設別可燃ごみ排出量.....	47
資料6 温室効果ガス排出量の予測根拠 .....	48

# 1. 計画策定の背景

## (1) 地球温暖化の影響

地球温暖化は気候変動を引き起こし、地球上の各地でその影響が顕在化しています。サンゴの白化や動物の個体数減少といった自然生態系の変化、異常高温による森林火災、大雨や台風・ハリケーンの巨大化による自然災害の増加、それらに伴う人々の生活への被害等、日々の暮らしや経済をはじめ幅広い分野にさまざまな影響を与えています。

将来の温度変化について、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第5次評価報告書（2015年改訂）によると、温室効果ガス排出量が衰えることなく続く中、現状を上回る有効な温暖化対策を講じなかった場合、今世紀末（2081年～2100年）の世界の平均気温は、20世紀末頃（1986年～2005年）に比べ、およそ2.6～4.8℃上昇すると考えられます。また、温暖化対策を厳しく行った場合でも、0.3～1.7℃の上昇が想定されており、海面の平均水位も最大で82cm上昇する可能性が予測されています。

日本においては、1898～2014年で100年あたりの年平均気温が約1.15℃の割合で上昇しています。今後、気温及び海水温の上昇、異常気象の多発をはじめ、食料不足、海水減少の加速、感染症の増加、種の絶滅など、地球環境の悪化により人間社会や生態系へのさらなる影響が予測されています。

表 1-1 将来における日本への影響

日本への影響は？		
2100年末に予測される日本への影響予測 (温室効果ガス濃度上昇の最悪ケース RCP8.5、1981-2000年との比較)		
気温	気温	3.5～6.4℃上昇
	降水量	9～16%増加
	海面	60～63cm 上昇
災害	洪水	年被害額が3倍程度に拡大
	砂浜	83～85%消失
	干渴	12%消失
水資源	河川流量	1.1～1.2 倍に増加
	水質	クロロフィルaの増加による水質悪化
生態系	ハイマツ	生育可能な地域の消失～現在の7%に減少
	ブナ	生育可能な地域が現在の10～53%に減少
食糧	コメ	収量に大きな変化はないが、品質低下リスクが増大
	うんしゅうみかん	作付適地がなくなる
	タンカン	作付適地が国土の1%から13～34%に増加
健康	熱中症	死者、救急搬送者数が2倍以上に増加
	ヒトスジシマカ	分布域が国土の約4割から75～96%に拡大

出典：環境省 環境研究総合推進費 S-8 2014年報告書

出典：環境省 環境研究総合推進費 S-8 2014年報告書  
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より

## (2) 地球温暖化問題に対する社会動向

平成9（1997）年12月、COP3（気候変動枠組条約第3回締約国会議）において先進国の温室効果ガスの削減に法的拘束力のある数値目標を盛り込んだ「京都議定書」が採択されました。

我が国では平成10（1998）年10月に「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下、法という。）が公布され、平成11（1999）年4月に施行（平成18年、20年改正）されました。この法律では、国、地方公共団体、事業者及び国民全ての主体が地球温暖化対策の推進に取り組むこととしており、また、第8条では、都道府県及び市町村に対して温室効果ガスの排出抑制等のための措置に関する計画を策定し、公表することが義務づけられています。

平成13（2001）年には京都議定書の運用に関する細則を定めた文書（マラケシュ合意）が決定され、平成14（2002）年3月には6%削減の達成に向けた具体的裏付けのある対策や実施スケジュールを示した「地球温暖化対策推進大綱（新大綱）」が決定されました。

平成20（2008）年の洞爺湖サミットでは、『2050年までに世界全体の排出量の少なくとも50%削減を達成する目標を気候変動枠組条約のすべての締約国と共有し、採択を求める』ことで合意しています。平成21（2009）年12月のCOP15における「コペンハーゲン合意」に基づき、政府は「全ての主要排出国が参加する公平で実効性のある枠組みの構築と野心的な目標の合意を前提に、『2020（令和2）年までに90年比25%の削減を目指す』ことを日本の中期目標としました。平成22（2010）年10月には同様の削減目標が盛り込まれた「地球温暖化対策基本法案」が閣議決定されました。

平成27（2015）年9月に世界共通の目標「SDGs（Sustainable Development Goals）」が国連サミットで採択され、目標の中に「13. 気候変動に具体的な対策を」「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」といった地球温暖化対策に関する目標が掲げられました。同年12月には、21回目の会議がパリで開催され、新たな国際的な枠組み「パリ協定」が採択されています。

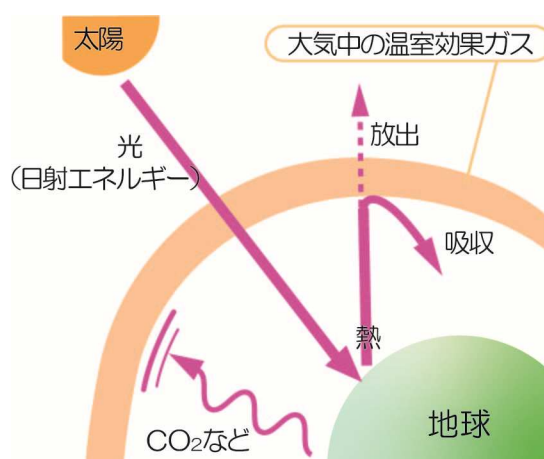
平成28（2016）年5月に「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、計画では、温室効果ガスの排出量削減に関する中期目標として、令和12（2030）年度に平成25（2013）年度比26%削減、長期的目標として令和32（2050）年までに80%削減を目指すことを位置付けています。

また、令和元（2019）年6月、パリ協定に基づく温室効果ガスの低排出型の発展のための長期的な戦略として「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」が閣議決定され、令和32（2050）年までに80%の温室効果ガスの削減に取り組むことを示しています。

### 地球温暖化のメカニズム

地球の気温は、太陽からのエネルギーと地球が出す放射熱のバランスにより決まります。太陽から届くエネルギーのうち、約3割は雲や地表面で反射されるため、残る約7割が地球を暖めることとなります。地球大気中には、温室効果ガスと呼ばれる気体が含まれており、代表的な二酸化炭素以外にも、メタン、一酸化二窒素、オゾン、ハロカーボン類（いわゆるフロンガスなど）などがあります。これらの気体は赤外線を吸収し、再び放出する性質を持っているため、太陽からの光で暖められた地球表面から地球の外に向かう赤外線の多くが、これらの気体や雲に吸収され、その後再び地球へ向けて放射され、地球の表面付近の大気を暖めます。これを「温室効果」と言います。このようなメカニズムにより、地球表面が今日のような温度に保たれ、多様な生物の存在を可能にしています。温室効果ガスが全く存在しなければ、地球の表面から放射された熱は地球の大気を素通りし、地球の平均気温は-19℃になると言われています。

このように、温室効果ガスは地球上で生物が生きていくために必要なものですが、産業革命以降、人間が大量の石油・石炭・天然ガス等化石燃料を使い続けてきたことで、二酸化炭素やメタン等の温室効果ガスが増加しました。その結果、より多くの熱が吸収され、地表の温度が上昇しています。これを「地球温暖化」と言います。



### (3) 和歌山県、本町での取組

#### 和歌山県の取組

##### ■和歌山県地球温暖化対策条例（平成28年一部改正）

地球温暖化を人類共通の課題ととらえ、「環境と経済が両立した持続可能な社会の構築」に向けて、地球温暖化対策を推進し、現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保に寄与するため、県、事業者、県民、環境保全活動団体、観光旅行者等の責務を明らかにするとともに、和歌山県の特性を活かした地球温暖化対策の基本的な事項を定めた和歌山県地球温暖化対策条例を平成19年3月に制定されました。

##### ■第4次和歌山県環境基本計画（平成28年3月改訂）

県の環境に関する各分野別計画の基本的な方向性を示す上位計画として、“持続可能な社会「将来にわたり住みよい環境わかやま」”の実現に向け、「安全・安心の確保(公害対策)」を前提に、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の構築への取組を一体的に進めるものとして策定されました。そのうち、低炭素社会構築への取組としては、「省エネルギーと再生可能エネルギー導入促進」、「森林吸収源対策」、「エネルギー消費の少ないコンパクトでスマートなまちづくり」、「運輸部門での対策」、「フロン漏洩対策」、「温暖化への適応策の検討」。

なお、和歌山県地球温暖化対策実行計画は環境基本計画に統合されています。

##### ○県内全域から排出される温室効果ガスの削減目標

令和2年度の目標（平成25年度比）：－9%の水準にする

令和12年度の目標（平成25年度比）：－20%の水準にする

##### ○部門別の削減目標：令和2年度の目標（平成25年度比）。

[ ]内は令和12年度の目標（平成25年度比）。

産業部門：－6% [－14%]

運輸部門：－7% [－17%]

民生家庭部門：－15% [－34%]

民生業務部門：－6% [－14%]



## 本町の取組

平成 23 年 3 月に策定した「第 5 次長期総合計画」では、「緑と絆で築くまち 美浜」を将来ビジョンに掲げ、基本目標のひとつ「安心と安全～緑が映えるまちづくり」において、美しい自然環境の継承を定めています。具体的な施策の展開は、「地球温暖化対策実行計画」の推進（ノーマイカー通勤デー等の実施）、新エネルギーシステムの展開検討（太陽光発電、電気自動車等の導入）、地球環境問題に関する住民の意識啓発を進めることとしています。

役場庁舎においては、エコカーの導入、エコアイスによる冷暖房設備への切り替えや節電等の活動を実施しており、太陽光発電設備を導入しています。その他の施設においても、節電等に努めています。

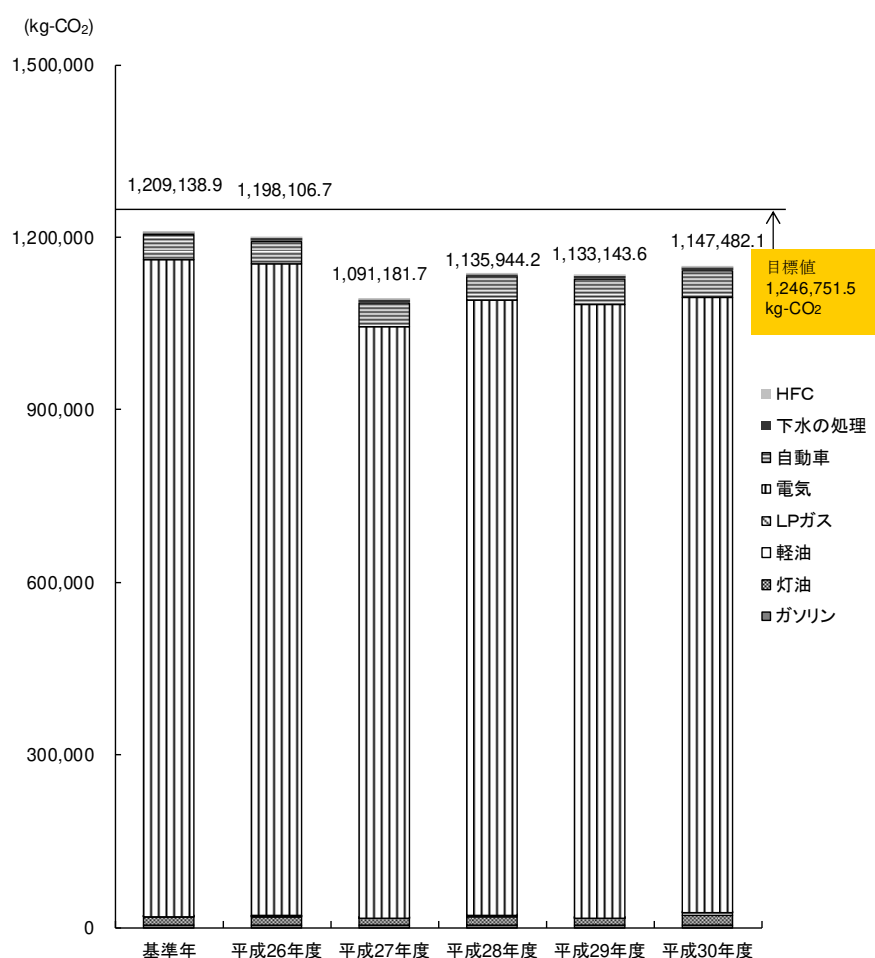
## 2. アクションプラン（平成26年～平成30年）の結果

本町では、平成 27 年 3 月に策定した「美浜町地球温暖化防止アクションプランⅢ」に基づき、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間を実行期間として取り組んできました。

### (1) 全体排出量について

前アクションプランの基準年（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）の温室効果ガス排出量は、1,209,138.9kg-CO<sub>2</sub>でした。下水処理による排出量の増加を見込み、目標値を 3.1% 増加としましたが、目標年である平成 30 年度の排出量は 1,147,482.1kg-CO<sub>2</sub> となり、基準年から 5.1% の減少となり、目標値を達成できました。

美浜町における温室効果ガス排出量の約 93% を電気が占め、自動車が約 4% となっています。一方で、灯油や LP ガスの割合は非常に小さくなっています。



※ガソリン、軽油、HFC はグラフに入っていますが、少ないため、ほとんど見えなくなっています。

図 2-1 温室効果ガス総排出量の推移

## (2) 項目別活動量について

前アクションプランにおける、各項目の活動量を表 2-1 に示します。

項目別の増減では、前計画策定時に増加していた電気使用量がこの5年間では減少しています。最も減少したのは、農業集落排水処理用（和田）で、19.1%（47,767 kWh）減、次いで庁舎が、17.2%（43,949 kWh）減となっています。

一方、最も増加したのはマンホールポンプで、基準年度に比べ 52.3%（16,881 kWh）の増加となっています。

表 2-1 項目別活動量

項 目		単位	基準年 (平成25年度)	平成30年度	増 減	
燃料 使用量	ガソリン	L	1,247.2	1,174.1	-73.1	
	灯油	L	6,088.0	6,828.8	740.8	
	軽油	L	163.8	2,071.8	1,908.0	
	A重油	L	0.0	0.0	0.0	
	LPGガス	kg	243.0	181.2	-61.8	
	ガソリン（自動車用）	L	14,686.6	15,615.6	929.0	
	軽油（自動車用）	L	3,137.2	3,266.4	129.2	
電気使用量		kWh	2,187,860.6	2,050,003.2	-137,857.4	
自動車 の走行距離	ガソリン	普通・小型乗用車	km	35,422.0	35,199.0	-223.0
		軽自動車	km	35,918.0	39,215.0	3,297.0
		小型貨物車	km	3,511.0	2,478.0	-1,033.0
		軽貨物車	km	112,723.0	125,133.0	12,410.0
		特殊用途車	km	684.6	582.7	-101.9
	軽油	バス	km	20,899.5	28,831.1	7,931.6
		小型貨物車	km	4,906.0	4,932.0	26.0
		特殊用途車	km	235.0	216.0	-19.0
カーエアコンの使用		台/年	38.0	43.0	5.0	
下水処理量		m <sup>3</sup>	182,232.0	244,067.0	61,835.0	

### (3) 項目別排出量について

前アクションプランにおける、各項目の排出量を表2-2に示します。

目標を定めた項目のうち、ガソリンの使用（自動車によるものを除く）、LPガスの使用、電気の使用、下水の処理の項目では目標を達成できましたが、それら以外の項目特に自動車に関する項目は達成できませんでした。増減量を見ると、電気の使用の減少が最も大きく、LPガスの使用も減少しています。

増減率（％）を見ると、発電機の使用により灯油（自動車以外）の使用が急増しましたが、主に自動車の走行による排出量が増加しています。なお、下水処理による増加見込みについては、想定内の増加にとどまっています。

表2-2 項目別排出量

(kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガスの種類	項目	基準年 (平成25年度)	平成30年度	増減 (上段：量 下段：%)	目標	達成
二酸化炭素	ガソリンの使用	2,893.5	2,724.0	-169.5 5.9%減	現状維持	○
	灯油の使用	15,159.1	17,003.7	1,844.6 12.2%増	現状維持	×
	軽油の使用	422.6	5,345.2	4,922.6 1,164.8%増	現状維持	×
	A重油の使用	0.0	0.0	使用なし	—	—
	LPガスの使用	729.0	543.6	-185.4 25.4%減	現状維持	○
	電気の使用	1,142,063.2	1,070,101.8	-71,961.4 6.3%減	3.4%増加	○
	ガソリンの使用 (自動車用)	34,072.9	36,228.2	2,155.3 6.3%増	10.2%削減	×
	軽油の使用 (自動車用)	8,094.0	8,427.3	333.3 4.1%増	6.0%削減	×
メタン	下水の処理	3,367.6	4,510.4	1,142.8 33.9%増	34.3%増加	○
	一酸化二窒素	自動車の走行	1,596.0	1,759.4	163.4	現状維持
10.2%増						
HFC	カーエアコンの使用	741.0	838.5	97.5 13.2%増	現状維持	×
合計		1,209,138.9	1,147,482.1	-61,656.8 5.1%減少	3.1%増加	○

#### (4) 施設種類別排出量について

前アクションプランにおける、施設種類別の排出量を図 2-2 に示します。

施設種類別では、浄水場等や農業集落排水処理場等からの排出量が多く、全体の約4割を占めています。しかし、近年における増減の変化をみると、浄水場等や、農業集落排水処理場等は増減を繰り返しながらも傾向としては減少しつつあります。また、基準年において3番目に排出量の多かった庁舎をみると、平成30年度にやや増加に転じたものの、平成29年度までは減少が続いていました。さらに、これまで排出量の増加が著しかった公共下水処理場については、処理量や使用する電気量もその増加率は鈍化してきています。排出量全体に占める割合が高い施設で減少傾向となったため、温室効果ガス排出量も減少しています。一方、排出量全体に占める割合は5～7%で推移しているものの、ひまわりこども園や公民館、図書館、体育館等では、微増傾向にあります。

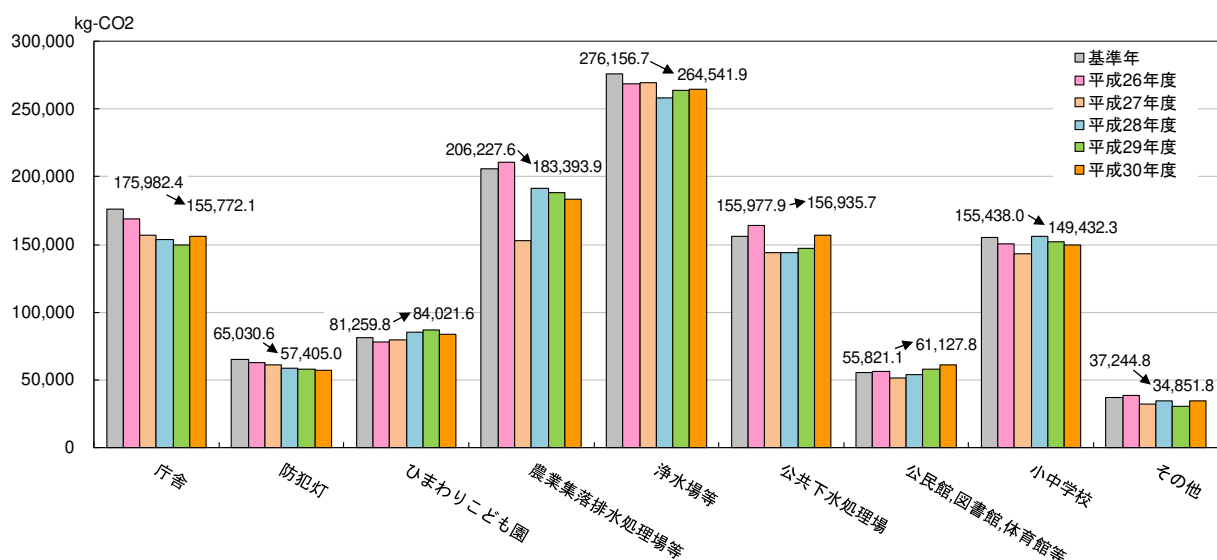


図 2-2 施設種類別の排出量の推移

表 2-3 施設種類別の総排出量全体に対する割合

単位: %

施設	基準年	平成30年度
庁舎	14.6	13.6
防犯灯	5.4	5.0
ひまわりこども園	6.7	7.3
農業集落排水処理場等	17.1	16.0
浄水場等	22.8	23.1
公共下水処理場	12.9	13.7
公民館,図書館,体育館等	4.6	5.3
小中学校	12.9	13.0
その他	3.1	3.0

#### (5) 上水使用量、用紙類使用量、可燃ごみ量について

前アクションプランにおける、各項目の排出量を表 2-4 に示します。

上水使用量は5%の削減を達成しましたが、用紙類使用量は18%増加し、可燃ごみの排出量は基準年よりは減少したものの、0.7%の削減にとどまったため、5%の削減目標を達成できませんでした。

表 2-4 目標と達成状況（上水、用紙類、可燃ごみ）

項目	単位	基準年 (平成25年度)	平成30年度	増減	目標	達成
上水使用量	m <sup>3</sup>	17,235	15,065	12.5%削減	5%削減	○
用紙類使用量 (A 4 換算)	枚	2,410,003	2,842,843	18.0%増加	5%削減	×
可燃ごみの排出量	kg	27,904	27,698	0.7%削減	5%削減	×

### 3. 基本的事項の設定

#### (1) 新アクションプラン策定の目的

町はその事務や事業の執行の中で、町自ら事業者・消費者として経済活動を行っています。そのため、町は大きな事業所であるとの認識のもと、公共施設の維持管理、物品の購入、その他行政事務の執行に際し、職員一人ひとりが率先して環境負荷の軽減に取り組み、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの排出抑制及び削減に努める必要があります。

「美浜町温暖化防止アクションプランⅣ」（以下、**新アクションプラン**という。）では、新たな温室効果ガス排出量の削減目標や、町の事務事業における省エネルギー・省資源等に向けた取組について策定します。

#### (2) 新アクションプランの期間

新アクションプランは、平成30年4月から平成31年3月までの1年間を基準年とし、令和元年度から令和5年度までの5年間を実行期間とします。最終年度の令和5年度を目標年度とします。

### (3) 新アクションプランの対象

新アクションプランの対象は、本町全ての事務・事業を対象とすることから、表 3-1 のとおり 30 施設・設備（以下、対象施設という。）とします。町立図書館は中央公民館に併設されているため、中央公民館に含めるものとします。

また、町有施設のうち、管理運営を地区組織等に委託し町が直接管理運営を行っていない施設については、温室効果ガス発生量の把握・集計等が困難であるため、対象から除外します。ただし、除外した施設の管理運営者に対しても、本計画の取組に対する理解と協力を呼びかけていきます。

表 3-1 対象施設一覧

組 織		対象施設	施設数
総務政策課		庁舎 畜産センター	2
税務課		—	—
産業建設課		防犯灯 「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場 煙樹海岸キャンプ場便所 煙樹海岸多目的広場	4
福祉保険課		—	—
住民課		町営火葬場	1
上下水道課	水道班	藤井取水場 田井浄水場 ポンプ場：三尾中継ポンプ場、日の岬線ポンプ場 田井排水処理施設	5
	下水班	農業集落排水処理場：和田、入山上田井 中継ポンプ（1～15号） 公共下水処理場：松原浄化センター、マンホールポンプ	5
議会事務局		—	—
教育課	社会教育班	中央公民館（町立図書館含む） 体育センター 郷土資料館 広場・公園：第1若もの広場、吉原公園 松原地区公民館 分館：浜ノ瀬分館、入山分館、三尾分館	9
	学事班	小学校：和田小学校、松原小学校 松洋中学校 幼稚園：ひまわりこども園	4



#### (4) 対象とする温室効果ガス

算定の対象とする温室効果ガスは、法の第2条第3項に基づき次の6種類のガスとします。

1. 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)
2. メタン (CH<sub>4</sub>)
3. 一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O)
4. ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの (以下、HFCという。)
5. パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの (以下、PFCという。)
6. 六ふっ化硫黄 (以下、SF<sub>6</sub>という。)

なおPFC及びSF<sub>6</sub>については該当する施設がないため、対象とする温室効果ガスから除きます。

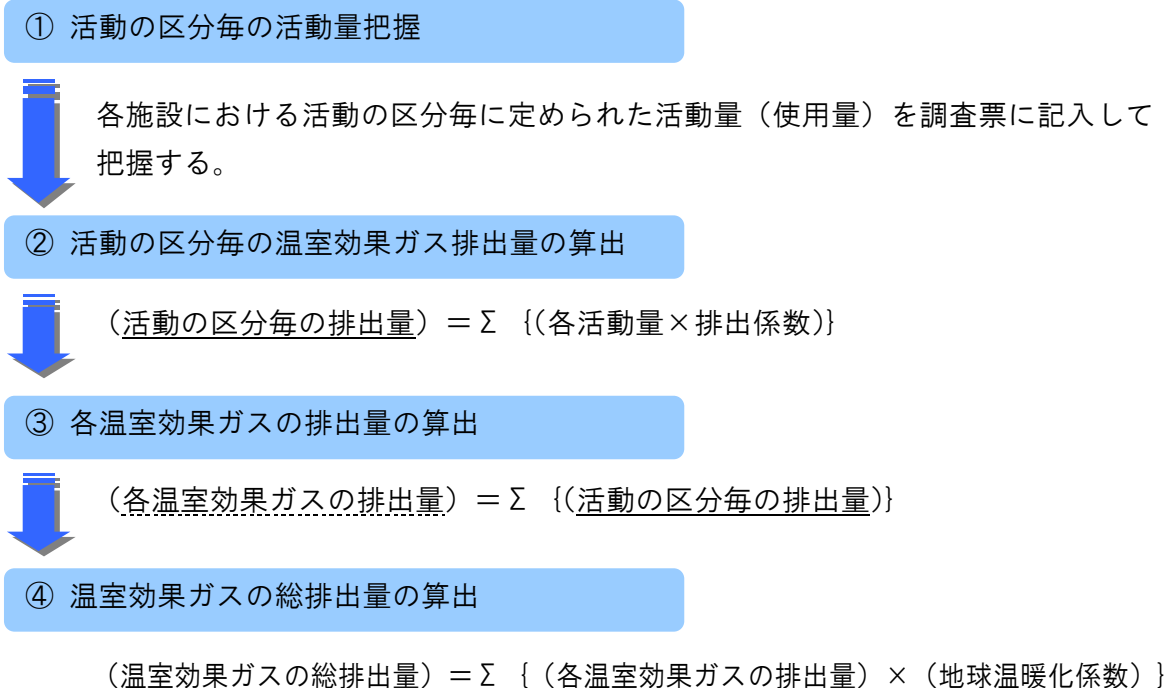
温室効果ガスの人為的発生源は、表3-2のとおりです。

表3-2 温室効果ガスの発生源

温室効果ガス	人為的発生源
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	最も代表的な温室効果ガスであり、化石燃料の燃焼等に伴い発生する。
メタン (CH <sub>4</sub> )	可燃性で天然ガスの主成分。 本町の事業では、自動車の走行に伴い発生する。
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	亜酸化窒素とも呼ばれる常温常圧で無色の気体。土中の有機物や窒素肥料による分解、物の燃焼が発生原因である。 本町の事業では、自動車の走行に伴い発生する。
HFC	エアゾール製品の噴射剤、カーエアコンや冷蔵庫の冷媒等に使用されている。
PFC	半導体等の製造時や電子部品の不活性液体等として使用されている。
SF <sub>6</sub>	変電設備に封入される電気絶縁ガスや半導体等製造用等として利用されている。

## (5) 温室効果ガスの算定方法

「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」(以下、**施行令**という。)の第3条第1項及び法の第2条第5項に基づき、温室効果ガスの総排出量(対象施設全体の排出量)を次のフロー図に沿って算定します。



### ①活動の区分

対象施設に該当する活動の区分は、表3-3のとおりです。

表3-3 活動の区分

温室効果ガスの種類	活動の区分
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	燃料の使用に伴う排出 他人から供給された電気の使用に伴う排出
メタン (CH <sub>4</sub> )	自動車の走行、下水処理に伴う排出
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	自動車の走行、下水処理に伴う排出
HFC	自動車用エアコンディショナーの使用時の排出

(注) 燃料については、ガソリン、灯油、軽油、A重油、LPガスが該当する。

## ②排出係数

「排出係数」については、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条第1項の規定に基づき、毎年度政令で定めることとされています。今回の算定に用いる排出係数は、同施行令及び温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン（環境省、平成29年3月）に基づく排出係数とします。

算定に使用した排出係数は表3-4のとおりです。

表 3-4 排出係数一覧

項目		排出係数①		排出係数②		
		排出係数	単位	排出係数	単位	
燃料の使用	ガソリン	2.32	kg-CO <sub>2</sub> /L			
	灯油	2.49	kg-CO <sub>2</sub> /L			
	軽油	2.58	kg-CO <sub>2</sub> /L			
	A重油	2.71	kg-CO <sub>2</sub> /L			
	LPGガス	3.00	kg-CO <sub>2</sub> /kg			
電気の使用		0.352	kg-CO <sub>2</sub> /kWh			
自動車の走行	ガソリン	普通・小型乗用車	0.000010	kg-CH <sub>4</sub> /km	0.000029	kg-N <sub>2</sub> O/km
		バス	0.000035		0.000041	
		軽自動車	0.000010		0.000022	
		普通貨物車	0.000035		0.000039	
		小型貨物車	0.000015		0.000026	
		軽貨物車	0.000011		0.000022	
		特殊用途車	0.000035		0.000035	
	軽油	バス	0.000017		0.000025	
		小型貨物車	0.0000076		0.000009	
		特殊用途車	0.000013		0.000025	
カーエアコンの使用		0.010	kg-HFC/台/年			
下水処理		0.00088	kg-CH <sub>4</sub> /m <sup>3</sup>	0.00016	kg-N <sub>2</sub> O/m <sup>3</sup>	

(注) 一つの活動で2つの温室効果ガスが排出される場合があるため、排出係数①と②で表記した。

### ③地球温暖化係数

「地球温暖化係数」とは、各温室効果ガスの温室効果の強さがその種類によって異なることを踏まえ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を1（基準）とし、各温室効果ガスの温室効果の強さを係数として表したもので、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第4条に定められています。

対象施設の活動の区分に該当する地球温暖化係数は、表3-5のとおりです。

表3-5 地球温暖化係数

温室効果ガスの種類	地球温暖化係数
二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）	1
メタン（CH <sub>4</sub> ）	25
一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）	298
HFC	1,430（HFC-134a）

## 4. 温室効果ガス排出状況

本町の温室効果ガス排出量は、基準年度（平成 30 年度）の 1 年間の活動量をもとに算定します。

### (1) 活動量

本町の事務・事業における基準年（平成 30 年度）の電気使用量や燃料の使用量等（活動量）は表 4-1 のとおりです。

表 4-1 基準年度の活動量（平成 30 年度）

項目		単位	活動量	
燃料使用量	ガソリン	L	1,174.1	
	灯油	L	6,828.8	
	軽油	L	2,071.8	
	A重油	kg	0.0	
	L Pガス	kg	181.2	
	ガソリン（自動車用）	L	15,615.6	
	軽油（自動車用）	L	3,266.4	
電気使用量		kWh	2,050,003.2	
自動車の走行距離	ガソリン	普通・小型乗用車	km	35,199.0
		軽自動車	km	39,215.0
		小型貨物車	km	2,478.0
		軽貨物車	km	125,133.0
		特殊用途車	km	582.7
	軽油	バス	km	28,831.1
		小型貨物車	km	4,932.0
		特殊用途車	km	216.0
	カーエアコンの使用		台/年	43.0
下水処理量		m <sup>3</sup>	244,067.0	

## (2) 温室効果ガス排出量

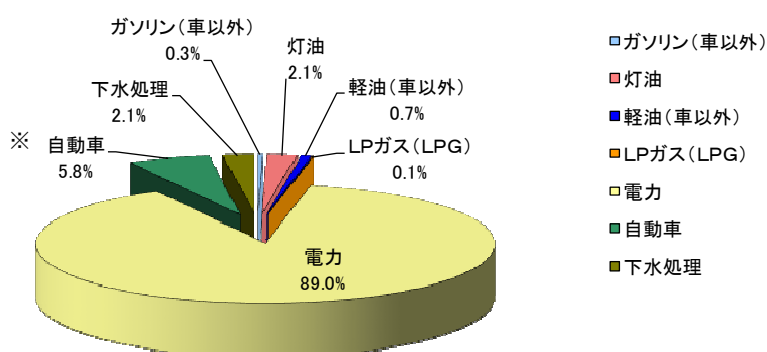
温室効果ガスの排出状況は表4-2、図4-1に示すとおりであり、基準年の温室効果ガス総排出量は、811,199.0 kg-CO<sub>2</sub>でした。

温室効果ガスの排出を活動の項目別にみると、電気の使用が89.0%と最も多く、次いで自動車の使用に関するもの（ガソリン、軽油の燃料および走行）が5.8%でした。電気の使用が排出量全体に占める割合が前計画より小さくなりましたが、大きな割合であることに変わりはありません。

表4-2 温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	項目	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合 (%)
二酸化炭素	ガソリンの使用	2,724.0	0.3
	灯油の使用	17,003.7	2.1
	軽油の使用	5,345.2	0.7
	A重油の使用	0.0	0.0
	LPガスの使用	543.6	0.1
	電気の使用	721,601.2	89.0
	ガソリンの使用（自動車用）	36,228.2	2.8
	軽油の使用（自動車用）	8,427.3	0.7
メタン	下水の処理	17,006.6	0.3
	自動車の走行	1,702.6	0.1
一酸化二窒素			
HFC	カーエアコンの使用	614.9	0.1
合計		811,199.0	100.0

※温室効果ガス排出量と割合については、実行計画の改定に合わせて排出係数の見直しを行ったため、P6、P8に掲載している数値と異なります。



※自動車は、ガソリンの使用、軽油の使用、自動車の走行、カーエアコンの使用を合計したものの

図 4-1 活動項目別内訳

温室効果ガスの排出が最も多かった電気の使用の施設別排出内訳は、表 4-3、図 4-2 に示すとおりです。

電気の使用による排出は、浄水場等の上水道関連施設が最も多く、公共下水処理場、農業集落排水処理場等の下水道関連施設を合わせると全体の 50%以上を占めています。これらの施設では、電気は主に機械設備に使用されています。特に松原浄化センター等の公共下水処理場は、今後もゆるやかに排出量が増加すると見込まれます。

表4-3 温室効果ガス排出量（電気の使用）

施設名	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合 (%)
庁舎	74,530.7	10.3
防犯灯	38,709.9	5.4
農業集落排水処理場等	122,838.1	17.0
浄水場等	176,777.6	24.5
公共下水処理場	101,438.3	14.1
公民館、図書館、体育館等	39,648.0	5.5
小中学校	100,443.2	13.9
ひまわりこども園	54,334.4	7.5
その他	12,881.0	1.8
合計	721,601.2	100.0

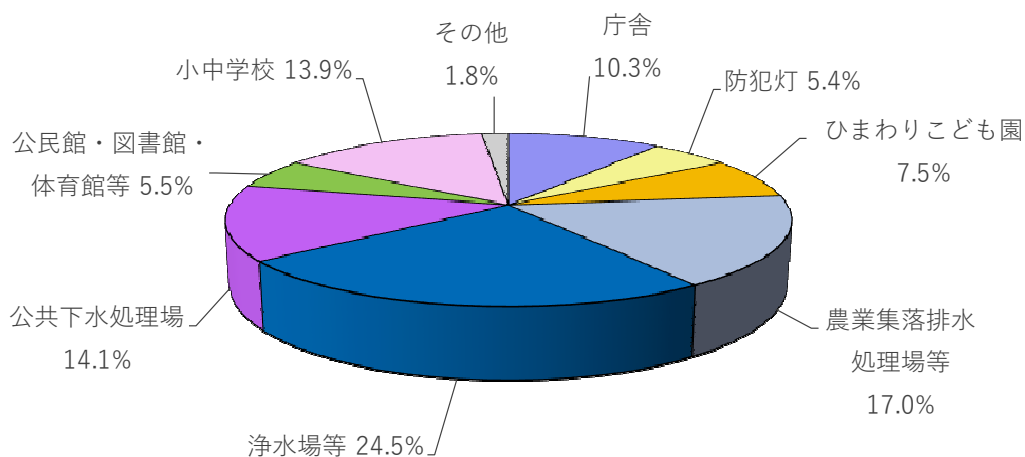


図 4-2 施設別内訳（電気の使用）

## 5. 資源の利用状況等

上下水や可燃ごみ等は、地域の浄水場、下水処理場及び廃棄物処理場において処理される際に電気や燃料を消費し、本町から間接的に温室効果ガスを排出するものです。本町においてもこれらの削減に努めることが必要であるため、基準年における資源の利用状況等を把握しました。

### (1) 上水の使用

上水の使用量は、表 5-1 のとおり対象施設全体で 17,235m<sup>3</sup>でした。

表 5-1 上水使用量

項目	使用量 (m <sup>3</sup> )
上水使用量	17,235

### (2) 用紙類の使用

用紙類の使用量は、表 5-2 のとおり、対象施設全体で 2,842,843 枚（A4 換算）でした。その内、再生紙は 344,100 枚であり、再生紙率は 12.1%でした。

表 5-2 用紙類使用状況

項目	単位	コピー用紙	印刷物	その他の用紙類※	合計
合計（A4 換算）	枚	2,276,150	412,663	154,030	2,842,843
内再生紙（A4 換算）		0	344,100	0	344,100
再生紙率	%	0.0	85.1	0.0	12.1

(注) ※：その他の用紙類は、プリンター用紙、印刷用紙、図面用紙とする。

### (3) 可燃ごみの排出

可燃ごみ排出量は、表 5-3 のとおり対象施設全体で 27,698kg でした。その内、再資源用ごみは 1,540kg であり、再資源率は 5.6%でした。

表 5-3 可燃ごみ排出状況

可燃ごみ排出量 (kg)	内再資源用ごみ※ (kg)	再資源化率 (%)
27,698	1,540	5.6

(注) ※：各施設でのシュレッダーで処理した紙類等の量とし、新聞、雑誌、ダンボール等の排出量は含まない。



## 6. 温室効果ガス排出量（電気使用量、下水処理量）の想定

### (1) 目的

将来の削減目標を設定するにあたり、本町において温室効果ガス排出量の多くを占める電気の使用量の増減は大きく影響すると考えられます。各施設・設備の使用や稼働状況を踏まえ、各施設・設備の電気使用量について検討を行い、大きな増減が見込まれるものについて予測を行い、実現可能な目標値の設定の目安とします。

また、松原浄化センターについては稼働率の上昇が今後も続くため、電気量とともに下水処理量の増加が見込まれており、この量についても予測を行います。

### (2) 今後の電気使用量の見込み

各施設別に、過去数年の推移・施設等へのアンケートを踏まえ、今後の使用量の見込みについて検討しました。なお、人が常駐しておらず、主に機器の稼働による使用である農業集落排水処理場等、浄水場等、公共下水処理場については施設種類別に検討しました。

表6-1 施設別の見込み

現状・今後の見込み	過去5年間の推移												
<p><b>(1) 庁舎</b></p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度はやや増加したものの、近年は減少傾向にある。</li> <li>・平成27年度以降は22.4万kWh～20.5万kWhで推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27～30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>庁舎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電気使用量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>246,794</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>223,764</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>217,497</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>204,549</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>211,735</td> </tr> </tbody> </table>	年度	電気使用量 (kWh)	H26	246,794	H27	223,764	H28	217,497	H29	204,549	H30	211,735
年度	電気使用量 (kWh)												
H26	246,794												
H27	223,764												
H28	217,497												
H29	204,549												
H30	211,735												
<p><b>(2) 防犯灯</b></p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備を順次LEDに更新している。</li> <li>・毎年減少傾向にある。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は微減傾向が継続すると考えられる。</li> </ul>	<p>防犯灯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電気使用量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>119,903</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>116,412</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>113,206</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>110,449</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>109,971</td> </tr> </tbody> </table>	年度	電気使用量 (kWh)	H26	119,903	H27	116,412	H28	113,206	H29	110,449	H30	109,971
年度	電気使用量 (kWh)												
H26	119,903												
H27	116,412												
H28	113,206												
H29	110,449												
H30	109,971												

現状・今後の見込み	過去5年間の推移												
<p>(3) 畜産センター</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27～29年度にかけて減少し、平成30年度はほぼ横ばいで推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29～30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>畜産センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>3,189</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3,251</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,732</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,637</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,564</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	3,189	H27	3,251	H28	2,732	H29	1,637	H30	1,564
年度	数値												
H26	3,189												
H27	3,251												
H28	2,732												
H29	1,637												
H30	1,564												
<p>(4) 「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27～28年度に大きく減少している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28～30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>7,516</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>7,129</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,561</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,175</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,008</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	7,516	H27	7,129	H28	2,561	H29	3,175	H30	2,008
年度	数値												
H26	7,516												
H27	7,129												
H28	2,561												
H29	3,175												
H30	2,008												
<p>(5) 煙樹海岸キャンプ場便所</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29～30年度に微増している。</li> <li>増加の要因として、アンテナショップの営業が考えられる。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度以降はアンテナショップの営業はないため、平成26～28年度と同程度の範囲に戻ると考えられる。</li> </ul>	<p>煙樹海岸キャンプ場便所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>9,878</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9,070</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>9,062</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>12,509</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11,320</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	9,878	H27	9,070	H28	9,062	H29	12,509	H30	11,320
年度	数値												
H26	9,878												
H27	9,070												
H28	9,062												
H29	12,509												
H30	11,320												
<p>(6) 町営火葬場</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度以降は22.7万kWh～21.7万kWhで推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の使用頻度による。</li> <li>これまでと大きな増減はなく、平成28～30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>町営火葬場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>25,525</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22,708</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>23,279</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>21,687</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21,702</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	25,525	H27	22,708	H28	23,279	H29	21,687	H30	21,702
年度	数値												
H26	25,525												
H27	22,708												
H28	23,279												
H29	21,687												
H30	21,702												
<p>(7) 農業集落排水処理場等</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に大きく減少したものの、平成28年度以降は36.7万kWhから34.9万kWhと減少傾向となっている。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆるやかな減少傾向が続くと考えられる。</li> </ul>	<p>農業集落排水処理場等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>403,185</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>293,262</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>366,936</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>359,762</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>348,972</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	403,185	H27	293,262	H28	366,936	H29	359,762	H30	348,972
年度	数値												
H26	403,185												
H27	293,262												
H28	366,936												
H29	359,762												
H30	348,972												

現状・今後の見込み	過去5年間の推移												
<p>(8) 浄水場等</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度以降、51.3万kWhから49.4万kWhの間で増減しており、ほぼ横ばいで推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと大きな増減はなく、平成28～30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>浄水場等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>513,156</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>515,962</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>494,238</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>504,987</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>502,209</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費量 (kWh)	H26	513,156	H27	515,962	H28	494,238	H29	504,987	H30	502,209
年度	消費量 (kWh)												
H26	513,156												
H27	515,962												
H28	494,238												
H29	504,987												
H30	502,209												
<p>(9) 中央公民館（町立図書館含む）</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度以降、多少の増減はあるものの51.0万kWhから48.4万kWhの間で増減しており、ほぼ横ばいで推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと大きな増減はなく、平成26～30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>中央公民館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>50,240</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>48,448</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>50,305</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>51,071</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>48,415</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費量 (kWh)	H26	50,240	H27	48,448	H28	50,305	H29	51,071	H30	48,415
年度	消費量 (kWh)												
H26	50,240												
H27	48,448												
H28	50,305												
H29	51,071												
H30	48,415												
<p>(10) 体育センター</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から平成29年度にかけてやや増加している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やや増加すると考えられる。</li> </ul>	<p>美浜町体育センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>23,041</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>21,363</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>24,838</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>29,068</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>27,384</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費量 (kWh)	H26	23,041	H27	21,363	H28	24,838	H29	29,068	H30	27,384
年度	消費量 (kWh)												
H26	23,041												
H27	21,363												
H28	24,838												
H29	29,068												
H30	27,384												
<p>(11) 郷土資料館</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度以降、211kWhから207kWhの間で推移しており、横ばい傾向である。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様、横ばい傾向が続くと考えられる。</li> </ul>	<p>郷土資料館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>207</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費量 (kWh)	H26	208	H27	208	H28	208	H29	211	H30	207
年度	消費量 (kWh)												
H26	208												
H27	208												
H28	208												
H29	211												
H30	207												
<p>(12) 第1若もの広場</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度以降、減少傾向である。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様、減少傾向が続くものの、減少幅はゆるやかになると考えられる。</li> <li>平成29年度～平成30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>第1若もの広場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>3,169</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,145</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,686</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,506</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,237</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費量 (kWh)	H26	3,169	H27	2,145	H28	1,686	H29	1,506	H30	1,237
年度	消費量 (kWh)												
H26	3,169												
H27	2,145												
H28	1,686												
H29	1,506												
H30	1,237												

現状・今後の見込み	過去5年間の推移												
<p>(13) 吉原公園</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度以降、微増・微減を繰り返しながら、やや減少している。</li> <li>公園内には建物2棟があり、イベントやレストランの運営があった。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営状況に影響を受ける。</li> <li>平成27年度～平成30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>吉原公園</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,830</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,607</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,527</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,622</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	1,830	H27	1,607	H28	1,527	H29	1,622	H30	1,500
年度	数値												
H26	1,830												
H27	1,607												
H28	1,527												
H29	1,622												
H30	1,500												
<p>(14) 和田小学校</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度まで増加し、以降はやや減少している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度～平成30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>和田小学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>45,258</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>46,860</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>53,294</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>52,872</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>52,062</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	45,258	H27	46,860	H28	53,294	H29	52,872	H30	52,062
年度	数値												
H26	45,258												
H27	46,860												
H28	53,294												
H29	52,872												
H30	52,062												
<p>(15) 松原小学校</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に減少したものの、平成28年度以降は平成26年度と同様の水準に戻っている。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様、増減はあるものの平成26年度～平成30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>松原小学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>65,051</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>57,174</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>65,459</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>66,699</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>63,029</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	65,051	H27	57,174	H28	65,459	H29	66,699	H30	63,029
年度	数値												
H26	65,051												
H27	57,174												
H28	65,459												
H29	66,699												
H30	63,029												
<p>(16) 松洋中学校</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度以降、17.9万kWhから16.8万kWhの間で推移しており、横ばい傾向である。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様、増減はあるものの平成26年度～平成30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>松洋中学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>176,085</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>168,170</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>178,510</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>170,043</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>170,259</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	176,085	H27	168,170	H28	178,510	H29	170,043	H30	170,259
年度	数値												
H26	176,085												
H27	168,170												
H28	178,510												
H29	170,043												
H30	170,259												
<p>(17) 松原地区公民館</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に減少して以降、11.2万kWhから9.9万kWhの間で推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様、増減はあるものの平成27年度～平成30年度と同程度の範囲で推移すると考えられる。</li> </ul>	<p>松原地区公民館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>14,059</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10,967</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10,290</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>11,173</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9,911</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	14,059	H27	10,967	H28	10,290	H29	11,173	H30	9,911
年度	数値												
H26	14,059												
H27	10,967												
H28	10,290												
H29	11,173												
H30	9,911												

現状・今後の見込み	過去5年間の推移												
<p>(18) 浜ノ瀬分館</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度以降、微増で推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も微増すると考えられる。</li> </ul>	<p>浜ノ瀬分館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,068</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,171</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,219</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,310</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	1,150	H27	1,068	H28	1,171	H29	1,219	H30	1,310
年度	数値												
H26	1,150												
H27	1,068												
H28	1,171												
H29	1,219												
H30	1,310												
<p>(19) 入山分館</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度以降、微増で推移している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も微増すると考えられる。</li> </ul>	<p>入山分館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>4,307</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4,107</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4,493</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4,580</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,879</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	4,307	H27	4,107	H28	4,493	H29	4,580	H30	4,879
年度	数値												
H26	4,307												
H27	4,107												
H28	4,493												
H29	4,580												
H30	4,879												
<p>(20) 三尾分館</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に増加している。</li> <li>・分館内でレストランがオープンしたことが影響している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランの運営により今後も増加すると考えられる。</li> </ul>	<p>三尾分館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>3,815</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,750</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3,204</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,330</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>16,880</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	3,815	H27	2,750	H28	3,204	H29	3,330	H30	16,880
年度	数値												
H26	3,815												
H27	2,750												
H28	3,204												
H29	3,330												
H30	16,880												
<p>(21) ひまわりこども園</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度から微増している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も微増すると考えられる。</li> </ul>	<p>ひまわりこども園</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>143,691</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>146,380</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>156,826</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>159,922</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>154,359</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	143,691	H27	146,380	H28	156,826	H29	159,922	H30	154,359
年度	数値												
H26	143,691												
H27	146,380												
H28	156,826												
H29	159,922												
H30	154,359												
<p>(22) 煙樹海岸多目的広場</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度から増減を繰り返している。</li> <li>・イベント（フリーマーケット、バザー等）の実施による使用量の増加が考えられる。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も増減を繰り返すと考えられる。</li> </ul>	<p>煙樹海岸多目的広場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,124</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>688</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>372</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,214</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>913</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H26	1,124	H27	688	H28	372	H29	1,214	H30	913
年度	数値												
H26	1,124												
H27	688												
H28	372												
H29	1,214												
H30	913												

現状・今後の見込み	過去5年間の推移												
<p>(23) 公共下水処理場&lt;電気使用量&gt;</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に減少したものの、平成27年度以降はゆるやかに増加している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後もゆるやかに増加すると考えられる。</li> </ul>	<p>公共下水処理場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電気使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>306,958</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>266,892</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>266,708</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>272,579</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>288,177</td> </tr> </tbody> </table>	年度	電気使用量	H26	306,958	H27	266,892	H28	266,708	H29	272,579	H30	288,177
年度	電気使用量												
H26	306,958												
H27	266,892												
H28	266,708												
H29	272,579												
H30	288,177												
<p>(24) 松原浄化センター&lt;下水処理量&gt;</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度にやや減少したものの、平成26年度以降でみると増加している。</li> </ul> <p>&lt;今後の見込み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後もゆるやかに増加すると考えられる。</li> </ul>	<p>松原浄化センター（下水処理量）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>下水処理量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>218,217</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>230,316</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>242,051</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>248,804</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>244,067</td> </tr> </tbody> </table>	年度	下水処理量	H26	218,217	H27	230,316	H28	242,051	H29	248,804	H30	244,067
年度	下水処理量												
H26	218,217												
H27	230,316												
H28	242,051												
H29	248,804												
H30	244,067												

### (3) 将来推計（予測）

(2) を踏まえ、今後、今まで以上に減少や増加が見込まれる場合は、過去の使用量を予測式へあてはめ、目標年度である令和6年度の使用量の推計を行いました。（予測による推計値算出の詳細については資料6参照。）

各施設の近年の推移に比べ、減少が見込まれる2施設と、増加すると考えられる6施設について予測式を用いて将来の電気使用量を推計しました。該当する施設と目標年度における推計値を以下に示します。

電気使用量は増加量が多く、減少量を考慮しても148,877 kWh増加すると推計されます。

また、下水処理量は、平成30年度の244,067 m<sup>3</sup>から約9.6% (23,385 m<sup>3</sup>) 増え、267,452 m<sup>3</sup>に増加すると推計されます。

表6-2 電気使用量（減少すると考えられる施設・設備等）

施設・設備等	推計値 (kWh)
防犯灯	103,078
農業集落排水処理場等	304,665
合計	407,743

表6-3 電気使用量（増加すると考えられる施設・設備等）

施設・設備等	推計値 (kWh)
美浜町体育センター	35,419
浜ノ瀬分館	1,513
入山分館	5,605
三尾分館※	19,607
ひまわりこども園	172,363
公共下水処理場	322,113
合計	556,620

※三尾分館は、平成30年7月からレストランが開業したため、月割による計算を行った。（開業後の7～3月までの月別使用量の平均値1,633.9kWhを開業前の3カ月にあてはめ、7月以降の実績と合算した量を将来の使用量とした。）

表6-4 下水処理量

施設・設備等	推計値 (m <sup>3</sup> )
松原浄化センター	267,452

## 7. 目標設定

### (1) 排出増加量の検討

令和5年度における本町の温室効果ガス排出量は、6で行った検討結果から、施設の使用増加や松原浄化センターの稼働率の上昇により、電気使用量、下水処理量が増加すると考えられます。

これらの排出増加量を考慮した目標年度の総排出量は、817,204.3 kg-CO<sub>2</sub>となり、基準年より0.7%増加します。

表 7-1 温室効果ガス排出量増加率（項目別）

単位：kg-CO<sub>2</sub>

項目	基準年 (平成30年度)	令和5年度	増加量 (基準年比)	増加率 (基準年比)
電気	721,601.2	725,977.0	4,375.8	0.6%
下水処理	17,006.6	18,636.1	1,629.5	9.6%
総排出量	811,199.0	817,204.3	54,034	0.7%

### (2) 排出削減量の検討

今後排出量の削減が見込まれるのは、各施設の節電、省エネ活動の推進と設備面での改善（設備更新時に省エネを考慮する）等が挙げられます。設備については、前回の簡易省エネ可能性調査から、LED化の進捗や交換時期や費用等の面も考慮し、削減可能量の40%を見込みます。また、車両に関しては、アイドリングストップ等の活動の継続・拡大を通じて使用燃料の削減が考えられます。

これらを実施し、得られる削減量は表7-2のとおりです。

表 7-2(1) 温室効果ガス排出量の削減効果の検討（施設別）

施設	内容	区分	削減量		排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )
各施設の 設備整備等	電灯や空調の整備・交換	電気	25,988	kWh	9,147.6
			25,915	kWh	
省エネ活動	不要な電気の消灯等				9,122.1
車 両	アイドリングストップ等	ガソリン	2,195	L	3,818.5
	アイドリングストップ等	軽油	237	L	459.1

※削減量算出の詳細については資料6を参照。



表 7-2(2) 温室効果ガス排出量削減率（項目別）

単位：kg-CO<sub>2</sub>

項目	基準年 (平成30年度)	削減量 (基準年比)	削減率 (基準年比)
電気使用量	721,601.2	18,269.7	2.5%
ガソリン（車両）	36,228.2	3,818.5	10.5%
軽油（車両）	8,427.3	459.1	5.4%
基準年度全体	811,199.0	22,547.3	2.8%

### （3）温室効果ガス排出量の目標

増減量の検討結果を踏まえ、本町の各項目別の温室効果ガス排出量目標を表7-3（1）に示します。

本町では、目標年度の総排出量を**基準年比2.0%の削減**を目標とします。

表 7-3(1) 目標（燃料、電気、下水処理及び総排出量）

単位：kg-CO<sub>2</sub>

項目		基準年 (平成30年度)	目標年度 (令和5年度)	増減	目標
燃料	ガソリン	2,724.0	1,174.1	0.0	現状維持
	灯油	17,003.7	6,828.8	0.0	現状維持
	軽油	5,345.2	5,345.2	0.0	現状維持
	A重油	—	—	—	—
	LPガス	543.6	543.6	0.0	現状維持
	ガソリン（自動車用）	36,228.2	32,409.7	-3,818.5	10.5%削減
	軽油（自動車用）	8,427.3	7,968.2	-459.1	5.4%削減
電気	721,601.2	707,707.2	-13,893.9	1.9%削減	
下水処理	17,006.6	18,636.1	1,629.5	9.6%増加	
自動車の走行、カーエアコン等	2,319.2	2,319.2	0.0	現状維持	
<b>温室効果ガス総排出量</b>		<b>811,199.0</b>	<b>794,656.9</b>	<b>-16,542.0</b>	<b>2.0%削減</b>

また、上水・用紙類の使用量やごみの排出量等、本町の活動により間接的に温室効果ガスが排出される項目についても表7-3(2)のとおり目標を設定し、資源等の有効利用により地域の温室効果ガスの削減に努めます。

表 7-3(2) 措置の目標（上水、用紙類、可燃ごみ）

項 目	単位	基準年	目標年度 (令和5年度)	増 減	目 標
上水使用量	m <sup>3</sup>	15,065	14,312	-753	5% 削減
用紙類使用量（A4換算）	枚	2,842,843	2,700,701	-142,142	5% 削減
可燃ごみの排出量	kg	27,698	26,313	-1,385	5% 削減

## 8. 温室効果ガスの削減に向けた取組

今後、さらなる温室効果ガスの削減を進めるためには、温室効果ガス排出量の多くを占める電気をはじめ、車両からの排出量等、削減効果の高いものや日常的に取り組むことのできるものから優先的に実践していく必要があります。

本町で対象とする各施設は、通常人が多く利用する庁舎や小中学校といった施設から、機器類の稼働を主とする施設まで、その状況は多様です。また、施設別の車両保有の有無や燃料、紙類、上水の使用状況も異なります。

ここでは、各施設の特徴を踏まえて対象施設を5つのタイプに分け、施設にあった温室効果ガスの削減に向けて、各施設に関わる人々が取り組むべき項目を示します。

省エネ機器や設備等の導入は電気使用量の削減に効果が期待できるものの、使用目的・使用頻度等によってはコストに見合わない場合や費用等の関係から、すぐに実行することが難しいものも含まれます。機器や設備の更新の際には、費用対効果も考慮しながら積極的に検討するとともに、情報の収集を継続することによって、より良い対策につながると考えられます。

表 8-1 施設と取組項目

タイプ	施設の特徴と取り組むべき項目								該当施設	
A	施設の使用頻度が高く、管理車両がある。								庁舎、中央公民館（町立図書館）、ひまわりこども園	3
	電気	燃料	車両	紙類	水	ごみ	グリ	設他		
	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○		
B	施設の使用頻度は高いが、管理車両はない。								和田小学校、松原小学校、松洋中学校、美浜町体育センター、三尾分館	5
	電気	燃料	車両	紙類	水	ごみ	グリ	設他		
	◎	○		○	◎	○	○	○		
C	人が常駐しているが、使用頻度はA,Bに比べてやや低い、活動量は使用頻度に左右される。管理車両はない。								松原地区公民館	1
	電気	燃料	車両	紙類	水	ごみ	グリ	設他		
	○				○	○		○		
D	人が常駐していない。使用頻度はA,Bに比べてやや低い、活動量は使用頻度に左右される。管理車両はない。								畜産センター、浜ノ瀬分館、入山分館、郷土資料館、町営火葬場	5
	電気	燃料	車両	紙類	水	ごみ	グリ	設他		
	○				(○)			○		
E	人が常駐しておらず、活動量は主に機器の稼働による。								防犯灯、「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場、煙樹海岸キャンプ場便所、農業集落排水処理場（和田）、農業集落排水処理場（入山上田井）、中継ポンプ（1～15号）、藤井取水場、田井浄水場、三尾中継ポンプ場、日の岬線ポンプ場（第1・2）、第一若もの広場、吉原公園、田井排水処理施設、松原浄化センター、マンホールポンプ、煙樹海岸多目的広場	16
	電気	燃料	車両	紙類	水	ごみ	グリ	設他		
	○	○						○		

グリ…グリーン購入

設他…設備ほか

○…温室効果ガスの排出実績があり、取り組むべき項目

◎…○の中でも重点的に取り組むべき項目

## (1) 各施設での取り組み内容

各施設で取り組む内容について、以下に示します。

### 電 気

#### 空調

- 冷暖房時の温度管理を徹底する（冷房 28℃、暖房 20℃）。
- 冷暖房中は、扉・窓を開放したままにしない。
- エアコンの風量を「弱」に設定する。
- 空調設備の吹き出し口周辺には物を置かないようにする。
- ブラインド・カーテン等を使い、空調効果を高める。
- クールビズやウォームビズを励行する。
- エアコンのフィルターの掃除を定期的に行う。
- 不要時や不在の場合は空調を切る。
- エアコンの室外機は風通しの良い東か南側に設置し、冷房時にはすだれ等により、日が当たらないようにする。

#### 照明

- 日中の廊下や階段の照明については、通行に支障のない照度が確保される場合は間引き消灯する。
- 日中の窓際の照明は、作業に支障がない限り消灯する。
- 更衣室、トイレ、給湯室、会議室、倉庫等の照明は必要な場合のみ点灯する。
- 明るすぎる箇所の照明機器台数の見直しを行う。
- 朝の業務開始前、終了後は消灯する。
- 窓口業務等、必要な箇所以外は昼休みの一斉消灯を行う。
- 残業時は不必要な照明を消す（残業ゾーンの設置）。
- 屋外照明は、支障のない範囲で消灯に努める。
- 照明器具の点検・清掃やランプの適正な時期での交換を実施する。
- 作業内容に適した照度になっているか定期的に点検を実施し、明るすぎる箇所については、照明の見直しを行う。

#### 機器

- コピー機やパソコン等（OA機器）については、省電力機能を活用し、離席時や昼休み等長時間使用しない時は主電源を切り、待機電力の削減に努める。
- 電気ポット、冷蔵庫、テレビ等電気製品は、数の集約を図り台数の削減を図る。
- 電気ポットや冷蔵庫の設定温度を適温に設定する。
- 使用していない機器はコンセントを外し、待機電力を減らす。

## 燃 料

- 給湯温度設定を低めに設定する。
- ガスコンロや湯沸器において、沸かし過ぎの防止、炎の調節など効率的に使用する。
- 給湯器を有効に利用し、電気ポットの使用をなるべく控える。

## 車 両

- 「エコドライブ」（アイドリングストップの励行、空ぶかし、急発進、急加速等をしていない、不要な荷物を積まない）に努める。
- カーエアコンの使用を控えめにする。
- タイヤの空気圧調整等の車両点検を定期的に行う。（給油時等）
- 目的地が重なる場合には、相乗りを励行する。
- 近距離の移動については、徒歩または自転車を積極的に使用する。
- 長距離の出張については、公共交通機関を積極的に利用する。
- 低燃費車、低公害車を優先利用する。
- 公用車の使用状況を把握し、台数の見直しを検討する。
- 公用車の更新・新規購入にあたっては、可能な限り既存車両に比べ排気量の小さいもの、低燃費車、低公害車を検討する。
- 公用車使用後は、運転日報等に走行距離や給油量を記録し、使用状況や燃費を把握する。
- 事前にルートを確認し、道路の交通情報を活用しながら、計画的な運行に努める。

## 紙 類

- 会議資料や事務手続きは簡素化し、用紙使用枚数の削減を図る。
- 会議ではOHPやプロジェクター等を使用し、配布用紙枚数の削減を図る。
- 省略が可能な添書、ファックス送り状は省略する。
- コンピューターによる文書、資料の共有化を行う。
- 電子メールや庁内LANを積極的に活用し、ペーパーレス化を図る。
- 課内や施設内で文書を配布する場合は、電子メールや回覧・掲示板を活用し、印刷数の削減を図る。
- パソコン画面で確認できるものは印刷しない。
- 両面コピー、裏面コピーを徹底する。
- 個人情報や機密情報などが記載されていない紙については、原則としてメモ紙として使用するか、裏面コピーに利用する。
- コピー機またはパソコンプリンタの用紙トレイに、片面使用済み用紙の専用トレイを設ける。
- コピー機等の使用後は必ずリセットボタンを押し、ミスコピーの防止を心がける。

- ミスコピー紙や裏面の有効利用を行う。
- パンフレット等印刷物の作成にあたっては、必要性、配付方法、紙面数等を十分に考慮のうえ、必要最低限の部数にとどめる。
- 封筒やファイル等紙製事務用品の再利用に努める。
- 使用済み用紙は適正に分別し、再資源化に努める。

## 水

- 水漏れ点検を徹底する。
- 水道使用時は流しっぱなしにせず、こまめに水を止める。
- 公用車の洗車方法等を改善する。(バケツの利用等)
- 水圧を低めに設定する。
- 雨水等の有効利用を検討する。

## ごみ

- 分別を徹底し、使用済み用紙の分別収集を行うなど資源化に努める。
- ごみの種類別にゴミ箱を準備し、分別に努める。
- 使い捨て商品の使用を控える。
- マイバッグ、マイ箸、マイカップを使用する。
- ごみ排出量を記録してグラフ化し掲示するなど、「見える化」を行い、意識の向上を図る。

## グリーン購入

- 消費電力が少ない照明の購入、更新を行う。(ランプ効率の高い電球やランプ、インバータ方式の照明器具)
- 消費電力や待機電力が少ないOA機器の購入、更新を行う。
- 空調・OA機器は、適正規模の製品を選択する。
- 節水型製品を導入する。(節水コマ、トイレの流水音発生装置、流量自動調整装置等)
- ファイル等の事務用品は、リサイクル製品を購入する。
- 簡易包装された商品を購入する。
- リターナブル容器での販売製品を購入する。(びん、コンテナ等)
- 「エコマーク」や「グリーンマーク」などの環境ラベルがついている環境への負荷が少ない製品を購入する。
- 物品などの管理を徹底し、無駄な購入を行わない。

## 設備ほか

- 設備・機器の定期的な点検を行い、適切な設定へ変更し、余分な負荷を減らす。
- 自然光に配慮して、照明機器の設置を行う。
- 照明のエリアに配慮したスイッチ回路を導入する。
- 省エネルギー型照明機器の導入、更新を行う。（インバータ方式照明、自動照度調節装置等）
- 各階・各所の空調への負荷と規模に応じてゾーニングを行い、それぞれの空調ゾーンに配慮し空調設備を導入する。
- 省エネルギー型設備の導入、更新を行う。（空調・給水ポンプの動力等）
- 電力平準化設備を導入する。（氷蓄熱空調システム）
- 太陽光発電を導入する。（街灯・給湯熱源等）
- コージェネレーションシステムを導入する。（燃料電池等）
- 効率の良い機器、設備など新たな技術やその効果に関する情報収集に努める。
- L Pガスや灯油等、より温室効果ガスの排出が少ない燃料を使用する設備の導入、更新、燃料の転換を行う。
- 再生資材を利用する。（アスファルト舗装材、再生砕石、建設発生土の再利用等）
- 建設廃棄物の発生を抑制する工法や資材を採用する。（打ち込み型枠、鋼型枠、規格品の採用等）
- 敷地内や施設の緑化を行う。

## （２）意識の向上と情報提供

本計画の目標は、職員一人ひとりが日頃から意識し、環境に配慮した行動を心がけることにより、達成することができます。また、施設によっては職員以外の利用者も多いことから、温室効果ガスの排出を削減するためには、利用者を含めた取り組みが必要です。

まずは温室効果ガスを減らすポイントが身の回りのどこにあるのかを知ることが重要です。様々な場面で情報を提供し、職員や利用者の意識を高めます。

### 職員の意識を高め、実践行動を促します

- 省エネのポイントを学ぶことで、効果的に温室効果ガスを削減することができます。省エネやエコドライブに関する情報を提供することで、日常生活や業務においてそれぞれが取り組めることに気づき、実践することで温室効果ガスの削減に努めます。
- 照明等の電源周辺といった目につきやすい場所に、電気使用量やごみの排出量等の月別変化のグラフや節電等の注意喚起を掲示するなど、環境に対する意識の向上を図ります。



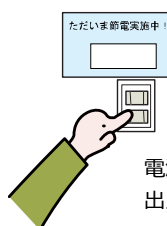
## 施設の利用者への意識啓発に努めます

- 図書館や公民館は町内外の住民も利用する施設です。そのため、各施設の利用者に向けて情報を提供し、協力の呼びかけや意識の向上に努めます。
- 職員へ向けた温暖化ガス削減についての情報を、学校教職員及び児童・生徒にも提供し、意識の向上を促します。
- 広報への情報の掲載（町の温暖化対策実施状況、すぐに取り組める事例の紹介）や、各施設における掲示（退室時の消灯、冷暖房の設定温度への協力要請）等に努めます。

### ●節電ミニポスター・啓発ステッカー等の掲示

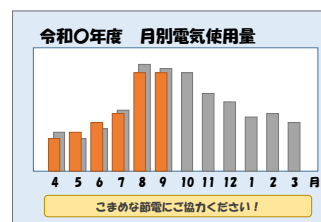
例)

- ・退室時は電気を消そう！
- ・使用後は電源OFF！
- ・帰る時はコンセントを抜こう
- ・温度設定は28℃で！



電源・スイッチ周辺、  
出入り口

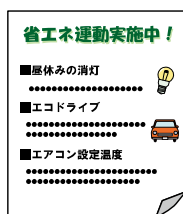
### ●使用量等の「見える化」(室内等への掲示)



例)

- ・月別電気使用量
- ・ごみ、資源物排出量
- ・車両給油量 等

### ●窓口や広報等における取組紹介、啓発



窓口、出入り口



広報

例)

- ・行政の取組紹介
- ・CO<sub>2</sub>削減効果の掲示
- ・家庭でできる節電の紹介

## 9. アクションプランの推進

### (1) 推進体制

本町では、図 9-1 に示すとおり推進体制を整備し、アクションプランの推進を図ります。

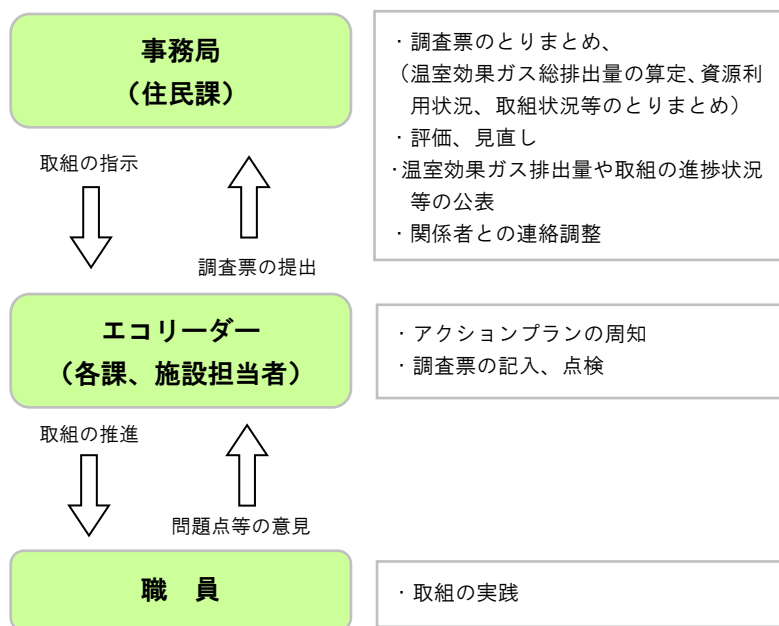


図 9-1 推進体制

#### ①事務局

事務局は、アクションプランの進行管理とともに、温室効果ガス排出量や取組の進捗状況についてとりまとめて評価し、必要に応じて計画の見直しを行います。これらの結果をホームページや広報等を通じて公表します。

また、取組における総合調整役としての役割も担います。

#### ②エコリーダー

エコリーダーは、各課職員及び施設担当者が担い、各課、各施設における燃料や資源使用量の把握（調査票の記入）とともに、職員の取組を推進します。実践の中で得られた意見等は事務局へ報告し、より有効な取組への発展に努めます。

## (2) 進捗状況の点検等

### ①点検

エコリーダーは、調査票を用いて毎月の電気使用量等の活動量、資源利用状況及び取組状況を把握することにより点検を行います。点検作業は年間を通じて行い、1年間の調査票を事務局へ提出します。事務局は、調査票を元に温室効果ガス総排出量の算定、取組状況等のとりまとめを行います。

### ②評価

点検結果を基に、前年度や基準年度との比較により評価を行います。

### ③見直し

評価により見直しの必要性が認められた場合は、事務局において見直しの作業を行います。取組や運用の仕組み、目標について内容を検討後、関係者との連絡調整を図る等、具体的な見直しを行います。なお、見直しの内容がアクションプランの変更を伴う場合は、変更後の内容を公表します。

### ④推進

見直し作業までの結果を基に、事務局においてアクションプランの推進方策の検討を行います。エコリーダーは検討結果を受け、職員に対し随時、アクションプランの周知に努めます。また、事務局は必要に応じて、職員を対象に研修を行います。

## (3) 公表

アクションプランの策定時及び変更時には、アクションプランの縦覧、広報紙及びホームページへの掲載により内容を公表します。また、毎年度の進捗状況についても、広報紙及びホームページにより公表します。



資料1 平成30年度 施設別活動量

(1/2)

調査項目 対象施設	ガソリン (車以外)	灯油	軽油 (車以外)	A重油	LPガス	電気	ガソリン (車)	軽油(車)	普通・小型乗 用車(ガソリ ン)	バス (ガソリン)	軽自動車 (ガソリン)	普通貨物車 (ガソリン)	小型貨物車 (ガソリン)	軽貨物車 (ガソリン)	特殊用途車 (ガソリン)
	L	L	L	L	kg	kWh	L	L	km	km	km	km	km	km	km
庁舎	1,131.0	100.0	0.0	0.0	10.8	211,735.0	14,773.4	2,205.4	35,199.0	0.0	35,559.0	0.0	2,478.0	118,550.0	582.7
防犯灯	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	109,971.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畜産センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,564.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,008.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
煙樹海岸キャンプ場便所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11,320.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町営火葬場	4.0	6,233.0	34.0	0.0	44.2	21,702.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業集落排水処理場(和田)	0.0	0.0	476.9	0.0	0.0	201,775.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業集落排水処理場(入山上田井)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	128,708.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中継ポンプ(1~15号)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18,489.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
藤井取水場	0.0	0.0	775.5	0.0	0.0	79,925.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田井浄水場	0.0	155.8	0.0	0.0	0.0	385,686.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三尾中継ポンプ場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34,323.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日の岬線ポンプ場(第1・第2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中央公民館	0.0	280.0	0.0	0.0	6.6	48,415.0	594.8	0.0	0.0	0.0	3,656.0	0.0	0.0	3,051.0	0.0
町立図書館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
体育センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27,384.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
郷土資料館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	207.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
第1若もの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,237.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吉原公園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,500.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
和田小学校	11.1	60.0	11.4	0.0	7.4	52,062.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原小学校	28.0	0.0	0.0	0.0	19.6	63,029.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松洋中学校	0.0	0.0	0.0	0.0	43.0	170,259.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原地区公民館	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	9,911.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
浜ノ瀬分館	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	1,310.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入山分館	0.0	0.0	0.0	0.0	39.8	4,879.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三尾分館	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	16,880.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田井排水処理施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,275.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原浄化センター	0.0	0.0	774.0	0.0	0.0	239,032.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マンホールポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49,145.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ひまわりこども園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	154,359.0	247.4	1,061.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,532.0	0.0
煙樹海岸多目的広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	913.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	1,174.1	6,828.8	2,071.8	0.0	181.2	2,050,003.2	15,615.6	3,266.4	35,199.0	0.0	39,215.0	0.0	2,478.0	125,133.0	582.7

資料1 平成30年度 施設別活動量

(2/2)

対象施設	調査項目							
	バス (軽油)	普通貨物車 (軽油)	小型貨物車 (軽油)	特殊用途車 (軽油)	HFC-134a封入 カーエアコン の使用 (年間)	HFC-134a廃棄 量(カーエア コンの廃棄)	下水処理量	HFC-134a封入 量(家庭用電 気冷蔵庫の使 用)
	km	km	km	km	台/年	kg	m <sup>3</sup>	kg
庁舎	22,494.1	0.0	4,932.0	216.0	38.0	0.0	0.0	0.0
防犯灯	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畜産センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
煙樹海岸キャンプ場便所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町営火葬場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業集落排水処理場(和田)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業集落排水処理場(入山上田井)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中継ポンプ(1~15号)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
藤井取水場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田井浄水場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三尾中継ポンプ場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日の岬線ポンプ場(第1・第2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中央公民館	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
町立図書館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
体育センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
郷土資料館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
第1若もの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吉原公園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
和田小学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原小学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松洋中学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原地区公民館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
浜ノ瀬分館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入山分館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三尾分館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田井排水処理施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原浄化センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	244,067.0	0.0
マンホールポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ひまわりこども園	6,337.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
煙樹海岸多目的広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	28,831.1	0.0	4,932.0	216.0	43.0	0.0	244,067.0	0.0

資料2 平成30年度 施設別温室効果ガス排出量

(1/2)

調査項目 対象施設	ガソリン (車以外)	灯油	軽油 (車以外)	A重油	L Pガス	電気	ガソリン(車)	軽油(車)	普通・小型乗 用車 (ガソリン)	バス (ガソリン)	軽自動車 (ガソリン)	普通貨物車 (ガソリン)	小型貨物車 (ガソリン)	軽貨物車 (ガソリン)	特殊用途車 (ガソリン)
	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub>
庁舎	2,623.9	249.0	0.0	0.0	32.4	74,530.7	34,274.3	5,689.9	313.0	0.0	242.0	0.0	20.1	809.8	6.6
防犯灯	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38,709.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畜産センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	550.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	706.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
煙樹海岸キャンプ場便所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,984.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町営火葬場	9.3	15,520.2	87.7	0.0	132.6	7,639.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業集落排水処理場(和田)	0.0	0.0	1,230.4	0.0	0.0	71,024.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業集落排水処理場(入山上田井)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45,305.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中継ポンプ(1~15号)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,508.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
藤井取水場	0.0	0.0	2,000.8	0.0	0.0	28,133.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田井浄水場	0.0	387.9	0.0	0.0	0.0	135,761.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三尾中継ポンプ場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12,081.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日の岬線ポンプ場(第1・第2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中央公民館	0.0	697.2	0.0	0.0	19.8	17,042.1	1,379.9	0.0	0.0	0.0	24.9	0.0	0.0	20.8	0.0
町立図書館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
体育センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,639.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
郷土資料館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
第1若もの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	435.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吉原公園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	528.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
和田小学校	25.8	149.4	29.4	0.0	22.2	18,325.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原小学校	65.0	0.0	0.0	0.0	58.8	22,186.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松洋中学校	0.0	0.0	0.0	0.0	129.0	59,931.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原地区公民館	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	3,488.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
浜ノ瀬分館	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4	461.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入山分館	0.0	0.0	0.0	0.0	119.4	1,717.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三尾分館	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	5,941.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田井排水処理施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	800.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原浄化センター	0.0	0.0	1,996.9	0.0	0.0	84,139.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マンホールポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17,299.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ひまわりこども園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54,334.4	574.0	2,737.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.2	0.0
煙樹海岸多目的広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	321.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,724.0	17,003.7	5,345.2	0.0	543.6	721,601.2	36,228.2	8,427.3	313.0	0.0	266.9	0.0	20.1	854.8	6.6

資料2 平成30年度 施設別温室効果ガス排出量

(2/2)

対象施設	調査項目								合計 kg-CO2
	バス (軽油) kg-CO2	普通貨物車 (軽油) kg-CO2	小型貨物車 (軽油) kg-CO2	特殊用途車 (軽油) kg-CO2	HFC-134a封入 カーエアコン の使用 (年間) kg-CO2	HFC-134a廃棄 量(カーエア コンの廃棄) kg-CO2	下水処理量 kg-CO2	HFC-134a封入 量(家庭用電 気冷蔵庫の使 用) kg-CO2	
庁舎	177.2	0.0	14.1	1.7	543.4	0.0	0.0	0.0	119,528.1
防犯灯	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38,709.9
畜産センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	550.5
「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	706.8
煙樹海岸キャンプ場便所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,984.6
町営火葬場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23,388.9
農業集落排水処理場(和田)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72,255.2
農業集落排水処理場(入山上田井)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45,305.2
中継ポンプ(1~15号)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,508.1
藤井取水場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30,134.4
田井浄水場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	136,149.4
三尾中継ポンプ場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12,081.7
日の岬線ポンプ場(第1・第2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中央公民館	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	19,213.3
町立図書館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
体育センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,639.2
郷土資料館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.9
第1若もの広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	435.4
吉原公園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	528.0
和田小学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18,552.6
松原小学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22,310.0
松洋中学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60,060.2
松原地区公民館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,497.7
浜ノ瀬分館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	475.5
入山分館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,836.8
三尾分館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,947.8
田井排水処理施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	800.8
松原浄化センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17,006.6	0.0	103,142.8
マンホールポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17,299.0
ひまわりこども園	49.9	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	57,762.8
煙樹海岸多目的広場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	321.4
合計	227.1	0.0	14.1	1.7	614.9	0.0	17,006.6	0.0	811,199.0

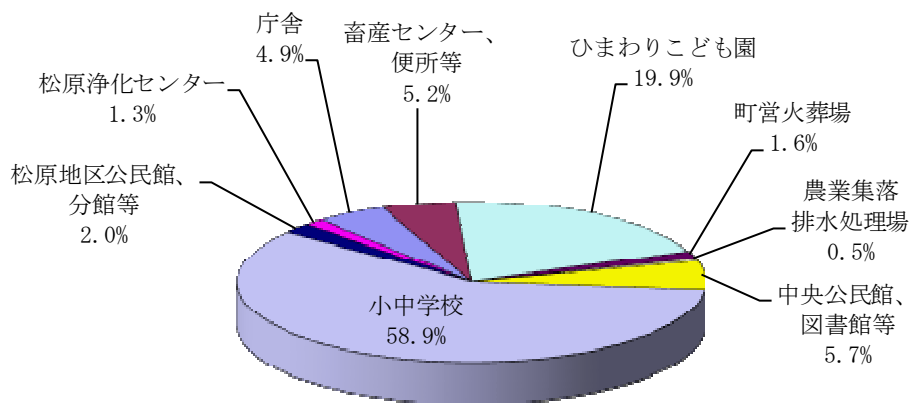


### 資料3 施設別上水使用量

上水使用量（施設別）

施設名	使用量 (m <sup>3</sup> )	比率 (%)
庁舎	736	4.9
畜産センター、便所等	778	5.2
ひまわりこども園	2,996	19.9
町営火葬場	243	1.6
農業集落排水処理場	71	0.5
中央公民館、図書館等	865	5.7
小中学校	8,878	58.9
松原地区公民館、分館等	300	2.0
松原浄化センター	198	1.3
合計	15,065	100.0

(注) 比率の合計は四捨五入の関係で、必ずしも100にはなりません。



上水使用量（施設別）

#### 資料4 用紙類使用量（施設別、用紙種類別）

##### 用紙類使用量（施設別）

施設名	コピー用紙 (枚)	印刷物 (枚)	その他の 用紙類(枚)	合計 (枚)	比率 (%)
庁舎	1,216,275	406,363	152,170	1,774,808	62.4
ひまわりこども園	0	0	0	0	0.0
小学校	719,250	6,300	1,860	727,410	25.6
中学校	340,625	0	0	340,625	12.0
合計	2,276,150	412,663	154,030	2,842,843	100.0

(注) A4換算使用量

##### 内再生紙使用量（施設別）

施設名	コピー用紙 (枚)	印刷物 (枚)	その他の 用紙類(枚)	合計 (枚)	比率 (%)
庁舎	0	344,100	0	344,100	100.0
ひまわりこども園	0	0	0	0	0.0
小学校	0	0	0	0	0.0
中学校	0	0	0	0	0.0
合計	0	344,100	0	344,100	100.0

(注) A4換算使用量

##### 再生紙率（施設別）

施設名	コピー用紙 (%)	印刷物 (%)	その他の 用紙類 (%)	合計 (%)
庁舎	0.0	84.7	0.0	19.4
ひまわりこども園	0.0	0.0	0.0	0.0
小学校	0.0	0.0	0.0	0.0
中学校	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	0.0	83.4	0.0	12.1

用紙類使用量（用紙種類別）

項目	コピー用紙 (枚)	印刷物 (枚)	その他の 用紙類 (枚)	合計 (枚)
A 4	1,612,400	380,150	138,380	2,130,930
A 3	105,000	6,000	2050	113,050
B 5	130,000	27,350	0	157,350
B 4	237,500	0	7,700	245,200
合 計	2,084,900	413,500	148,130	2,646,530
(A 4 換算)	2,276,150	412,663	154,030	2,842,843

内再生紙使用量（用紙種類別）

項目	コピー用紙 (枚)	印刷物 (枚)	その他の 用紙類 (枚)	合計 (枚)
A 4	0	344,410	0	344,410
A 3	0	0	0	0
B 5	0	0	0	0
B 4	0	0	0	0
合 計	0	344,410	0	344,410
(A 4 換算)	0	344,410	0	344,410

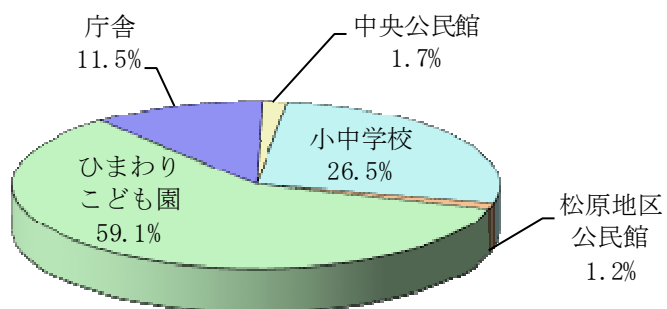
再生紙率（用紙種類別）

項目	コピー用紙 (%)	印刷物 (%)	その他の 用紙類 (%)	合計 (%)
A 4	0.0	90.5	0.0	16.1
A 3	0.0	0.0	0.0	0.0
B 5	0.0	0.0	0.0	0.0
B 4	0.0	0.0	0.0	0.0
(A 4 換算)	0.0	83.4	0.0	12.1

資料5 施設別可燃ごみ排出量

可燃ごみ排出量（施設別）

施設名	可燃ごみ排出量 (kg)	比率 (%)	内資源ごみ (kg)	資源化率 (%)
庁舎	3,180	11.5	374	11.8
中央公民館	465	1.7	114	24.5
小中学校	7,351	26.5	1,053	14.3
松原地区公民館	327	1.2	0	0.0
ひまわりこども園	16,375	59.1	0	0.0
合計	27,698	100.0	1,540	5.6



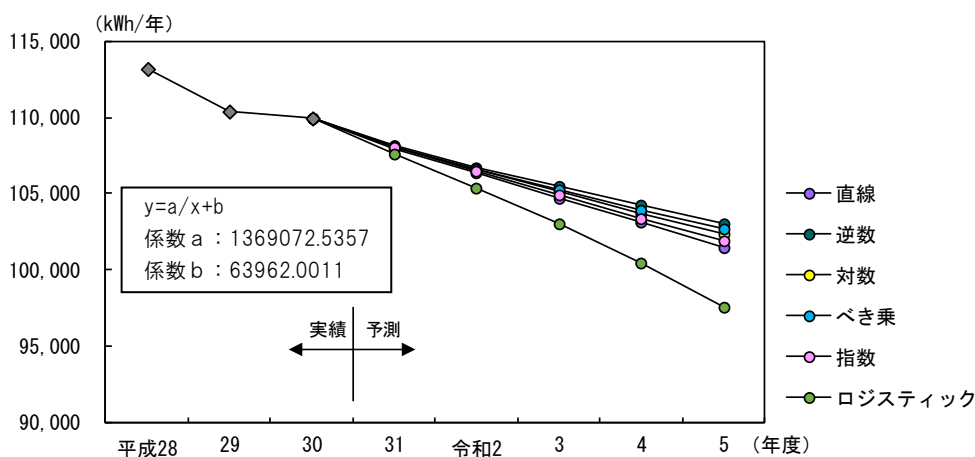
可燃ごみ排出量（施設別）

## 資料6 温室効果ガス排出量の予測根拠

### 1) 減少量

#### ①防犯灯

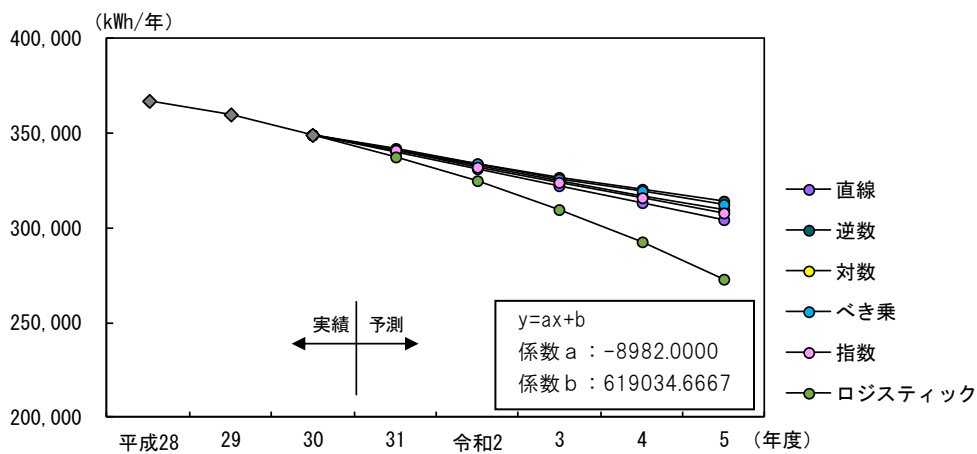
平成 28 年度から平成 30 年度の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の電気使用量を推計した。その中で、重相関係数の高い（重相関係数は 1 に近いほど信頼度が高い）、逆数式を選択した。その結果、目標年度における電気使用量は、103,078.4 kWh/年と予測される。



推計結果（電気使用量）

#### ②農業集落排水処理場等

平成 28 年度から平成 30 年度の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の電気使用量を推計した。その中で、極端な減少を示すロジスティック式を除き、重相関係数が高い直線式を選択した。その結果、目標年度における電気使用量は、304,664.7 kWh/年と予測される。

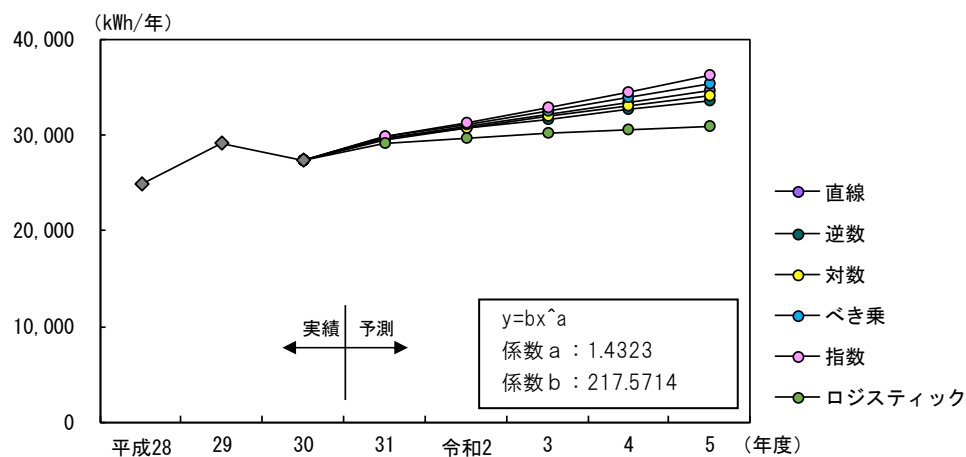


推計結果（電気使用量）

## 2) 増加量

### ①美浜町体育センター

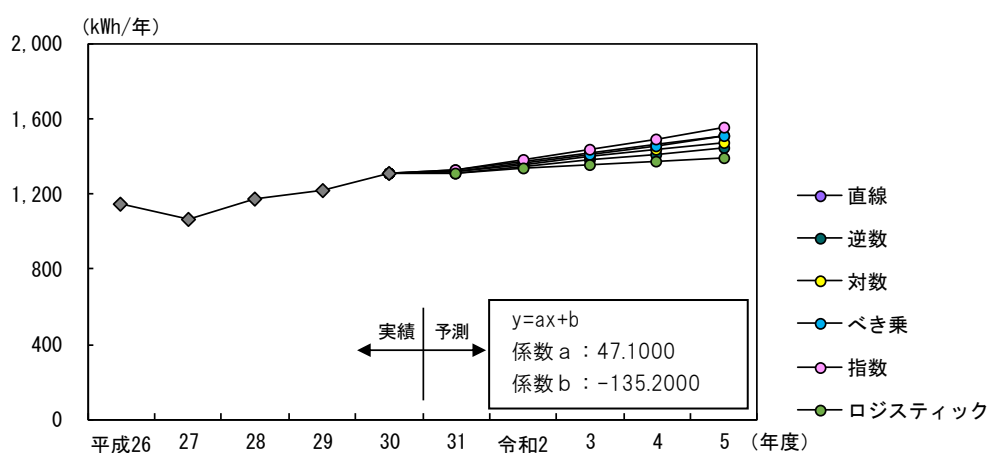
平成 28 年度から平成 30 年度の年間電気使用量の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の電気使用量を推計した。その中で重相関係数の高いべき乗式を選択した。その結果、目標年度における電気使用量は、**35,419.0 kWh/年**と予測される。



推計結果（電気使用量）

### ②浜ノ瀬分館

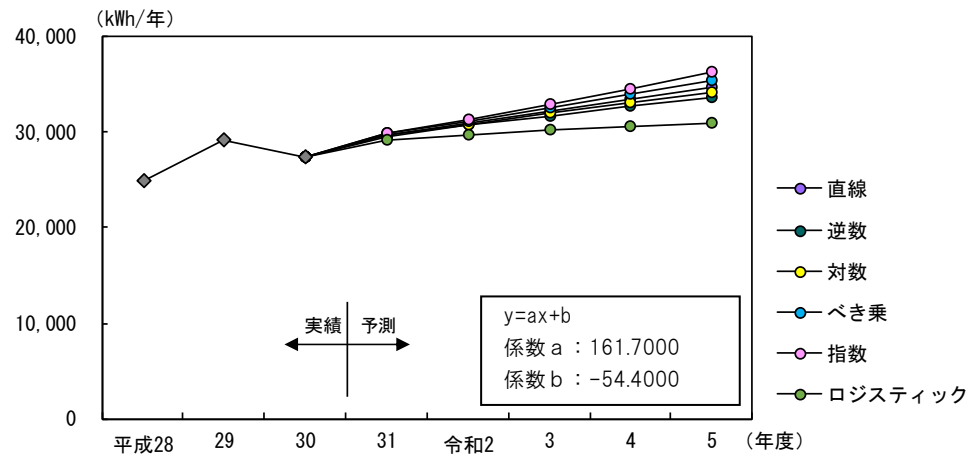
平成 26 年度から平成 30 年度の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の電気使用量を推計した。その中で、極端な減少を示すロジスティック式を除き、重相関係数が高い直線式を選択した。その結果、目標年度における電気使用量は、**1,513.3 kWh/年**と予測される。



推計結果（電気使用量）

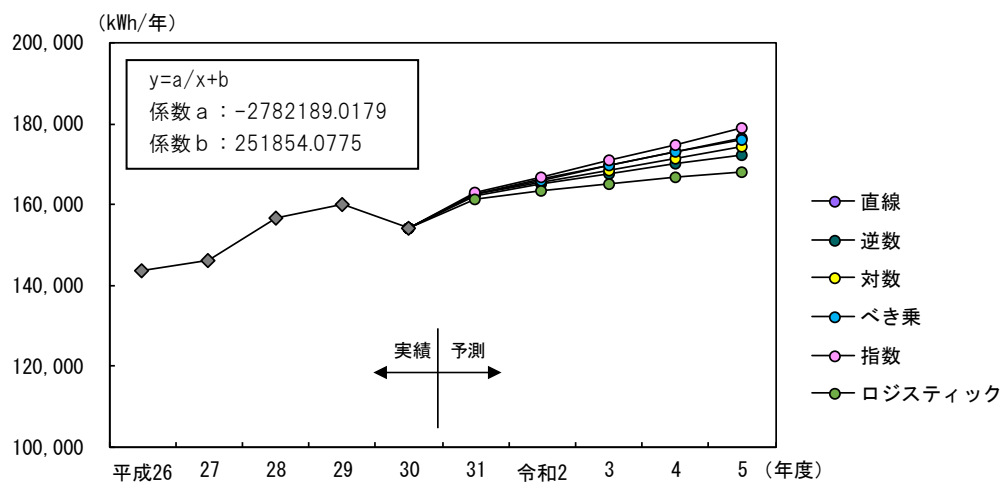
### ③入山分館

平成 26 年度から平成 30 年度の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の電気使用量を推計した。その中で、極端な減少を示すロジスティック式を除き、重相関係数が高い直線式を選択した。その結果、目標年度における電気使用量は、**5,605.1 kWh/年**と予測される。



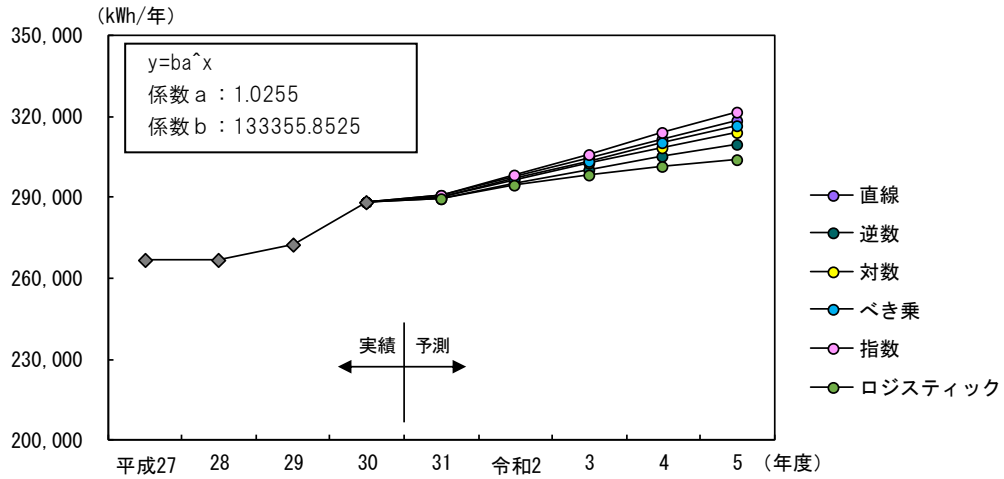
### ④ひまわりこども園

平成 26 年度から平成 30 年度の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の電気使用量を推計した。その中で重相関係数の高い逆数式を選択した。その結果、目標年度における電気使用量は、**172,363.0 kWh/年**と予測される。



### ⑤公共下水道処理場

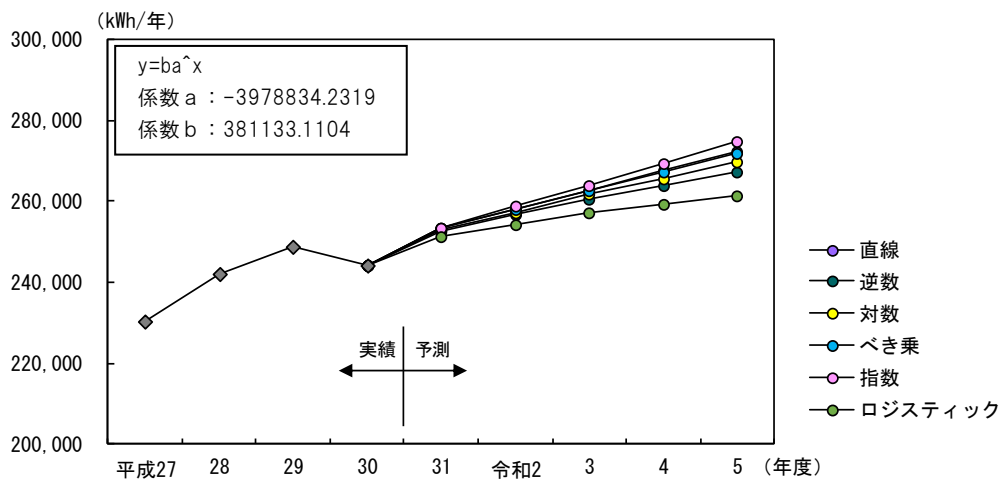
平成 27 年度から平成 30 年度の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の電気使用量を推計した。その中で重相関係数の高い指数式を選択した。その結果、目標年度における電気使用量は、**322,113.4 kWh/年**と予測される。



推計結果（電気使用量）

### ⑥松原浄化センター（下水処理量）

平成 27 年度から平成 30 年度の推移から、6 つの予測式に当てはめ、目標年度の下水処理量を推計した。その中で重相関係数の高い逆数式を選択した。その結果、目標年度における下水処理量は、**267,452.1 kWh/年**と予測される。



推計結果（下水処理量）



## 2) 削減量

### ①エコドライブの実践

各車両においてエコドライブを実施し、アイドリングストップ (17.33 L/年・台)、アクセルをゆっくり踏む「e スタート」(83.57 L/年・台)、加減速の少ない運転 (29.29 L/年・台)、早めのアクセルオフ (18.09 L/年・台) を実践する。現在多くの車両でエコドライブを既に実践していると考えられるため、実施率を 30% と想定する。1,646L/年= 37 台×148.28 L/台×30% のガソリン、178L/年= 4 台×148.28 L/台×30% の軽油を削減することが可能である。(削減量は「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬」(経済産業省 資源エネルギー庁) を参考に算出。)

※台数については、電気自動車 1 台及び通常使用しない特殊車両 (軽油) 1 台を除く。

### ②電気 (設備の更新等)

本計画における電気使用の削減量として、前計画における簡易省エネ可能性調査による削減可能量のうち、現在 LED 化が進んでいる防犯灯分を除くこととする。また、その他の機器導入等については、本計画実行期間での実現が未確定な部分もあるため、煙樹海岸キャンプ場 (自動販売機) 及び田井浄水場の設備整備・更新分も除いた電気量の 40% を見込む。目標年度における電気削減量は、25,987.6kW/年とする。

### ③電気 (省エネ行動)

将来推計で予測をしなかった施設について、これまでの推移から目標年度における電気使用見込み量を想定するとともに、その想定量及び過去 5 年間の使用量のうちの最少値と基準年度との差を削減量として見込む。目標年度における電気削減量は、25,915.0kWh/年とする。

#### 推計結果

施設・設備等	見込み	推計値 (kWh)	5年間の実績及び推計値のうち最小値	基準年度との差
庁舎	H27～30年実績平均	214,386	204,549	-7,186
畜産センター	H29～30年実績平均	1,601	1,564	0
「潮騒かおる煙樹ヶ浜」憩いの広場	H28～30年実績平均	2,581	2,008	0
煙樹海岸キャンプ場便所	H26～28年実績平均	9,337	9,062	-2,258
町営火葬場	H28～30年実績平均	22,223	21,687	-15
浄水場等	H28～30年実績平均	500,478	494,238	-7,971
中央公民館(町立図書館)	H26～30年実績平均	49,696	48,415	0
郷土資料館	H26～30年実績平均	208	207	0
第1若もの広場	H29～30年実績平均	1,372	1,237	0
吉原公園	H27～30年実績平均	1,564	1,500	0
和田小学校	H28～30年実績平均	52,743	52,062	0
松原小学校	H26～30年実績平均	63,482	57,174	-5,855
松洋中学校	H26～30年実績平均	172,613	168,170	-2,089
松原地区公民館	H27～30年実績平均	10,585	9,911	0
煙樹海岸多目的広場	H26～30年実績平均	862	372	-541
合計 (削減可能性量)				-25,915



---

美浜町温暖化防止アクションプランⅣ  
～小さな町からの地球温暖化防止に向けて～

発行年月：令和2年3月

発行：美浜町

〒644-0044

和歌山県日高郡美浜町和田 1138-278

TEL：0738-23-4904

FAX：0738-23-3523

編集：美浜町住民課

---